



Taketa Public Relations No.69

おたまや公園

広報
たけた

2010

12

竹田で感じた「柔らかさ」を映像化

～ 韓国映画監督ハン・ジエさんから贈り物 ～

韓国若手映画監督ハン・ジエさんが竹田市内に2週間滞在し、「LOST IN TAKETA」と「長湯温泉の人々」の2本の短編映画作品を作りました。これらは「長湯温泉 日韓短編映画祭」にて発表。竹田の美しい自然やここに住む人々の笑顔が上映されると、会場から大きな拍手喝采が起きました。この作品には、ハン監督がこの竹田で感じた「柔らかさ」や人の温かさに溢れていました。

ハン・ジエ監督に、竹田での思い出と、映画の魅力についてお聞きしました。

竹田市で映画を撮りながら印象的だったこと、人、そして感想

竹田は隅々が細いものでいっぱい、美術をする人々なら皆が好きになるぐらい可愛い隅がある町でした。昔のものがたくさん残っている静かな町の隅々を歩いて見ると、ある瞬間、時間が止まっている気がしたりしました。私はたまに通り過ぎる人々を見て頭の中で彼らに200年前の伝統衣装を着せてみては話を作ったりしました。すべてのものがとてもゆっくり動くようでした。自然は豊かで水が多いところでした。

「変だな。まったく同じ事柄なのにどうしてこんなに韓国と違うように見えるのだろうか？」
私のこんな質問に撮影監督は、国ごとに経度と緯度の差がある

から光が入って来る角度が違って物が違うように見えると言いました。赤道に近いインドで撮影をすれば、光が直角に入ってきて色がもつと強烈で少し黄色を帯びる一方、こちらの場合には、ソウルと比べた時、まるでソフトフィルターをかけたように柔らかく感じられるんだと言いました。そう、私が竹田で感じたことはこういう柔らかさ

だったのです。物物だけではなく人も同じだったのです。ゆっくり流れる時間の中、住んでいる人々の顔には都会人とは違う余裕が、ほほ笑みとして現われていました。

私は通り過ぎる人々に踊ってくれるように頼みながら、音楽を流しておいて、とにかく彼らの前で踊りました。そして人々は思ったよりすぐに楽しく踊ってくれたし、私たちはその時間を楽しんだし、このような楽しさが映像にそっくりそのまま残りました。

印象的なのは村の住民の皆さんだと思います。カメラの前で純粋で可愛く飛び回って遊んだ小僧たち、鳥のてんぶらをつ

まみながら帰って食べなさいと伝えてくれたおばあさん。刀を持つとサムライに変身する池田さんなど、とても楽しくて面白かった人々にたくさん出会いました。この席をかりて皆さんに感謝の気持ちを申し上げたいです。

私にとって映画とは？

多くの監督たちは映画以外のことは分からなくて、映画を掘り下げながら死に近い苦痛を経験したり、これを通じて人生の力作を抜き出したりする、あるいは徹底的に産業的に有名な俳優たちと刺激的な内容を持って、いわゆる興行映画を作って多くのお金を儲けたりします。これが映画人たちの映画に対する態度だとしたら、私にとっての映画とは、作る人と見る人が一緒に楽しむことができるということだと思います。

私はあまり、早く大型映画を取って有名になりたい人になりたくないし、芸能人たちよりは世界の隅々に住んでいるそれぞれの他の人々の生きている文



化と社会にもっと関心があります。私は長編映画だけが映画だとは思いません。いつか長編映画を作るようになるとは思いますが、その時が来るまで私は多くの人々に出会って、彼らの生き方を観察して、話して、人生を学びたいと思います。

それで私は今、昔々遠い昔の長湯で”のような作業を、全世界の小さな村を連作シリーズとして作るつもりです。そういう作業の中に彼らの文化と生き方、楽しみなどをそっくりそのまま詰め込むつもりです。もちろんお金を稼ぐことができない作業なので簡単ではありませんが、このような絶え間ない努力を通して成長したいと思っています。

(翻訳：朴賢眞)



「LOST IN TAKETA」
竹田の城下町を旅する韓国人性は…。



「長湯温泉の人々」
村を救った勇敢な男は踊るのが大好き…。



ハン・ジエ
ソウル漢陽大映画学科の学生だった2008年に短編映画「汽車を止めて」で全州国際映画祭短編部門最優秀賞を受賞。現在、韓国総合芸術学校大学院生(休学中)。将来を期待される映像作家。



←映画祭を記念してイ・ミョンセ監督とイ・ミンギさんが韓国の国花『ムクゲ』の木を会場敷地内に植樹しました



↑観客に埋め尽くされたルカスホール



↑「映画を愛してください！」とイ・ミョンセ監督



←イ・ミンギに早く会いたい！（開場時間前に長蛇の列）



↑会場からの質問コーナーもあった、シンポジウム「アジアの奥座敷 TAKE TA で韓国映画を撮る」。ゲストとの交流は、この映画祭の魅力

映画で沸いた長湯温泉

日韓の交流促進や地域の振興を図ることを目的に『第1回長湯温泉日韓短編映画祭』が11月12日から14日までの3日間、直入町の歴史温泉伝承館「万象の湯ルカスホール」で開催され、会場には全国から約150人の映画ファンが集まりました。

12日、温泉療養文化館「御前湯」で、前夜祭として韓国映画「おいしいマン」を上映。翌13日は韓国短編映画デー。DKキム・ネギユン監督やイム・チェンジエ監督、ハン・ジエ監督らを迎えて、短編映画作品の上映会と本人による作品解説などが行われました。

そして、映画祭のメインであるシンポジウム「アジアの奥座敷 TAKE TA で韓国映画を撮る」では韓国映画界ビジュアル派の巨匠イ・ミョンセ監督や人氣若手俳優イ・ミンギさんらが参加し、竹田を訪れた印象や映画制作について語りました。

コーディネーターを務めた映画祭ディレクターの下川正晴氏（県立芸術文化短期大学教授）は観客席に向けて「温泉地・長湯を多くの人に知ってほしい」と話し、さらに参加パネリストの今後の活躍を期待しながらシンポジウムを締めくくりました。

近藤一彦監督らの作品上映や「日韓海峡圏映画祭報告」、「福岡インディペンデント映画祭報告」などが行われ、3日間の幕を閉じました。

「芸短大の竹田キャンパス開設にはじまり、今回の映画祭の成功。今後もマンパワーを活かし、地域が一体となって次回に繋げていきたい」と話す首藤文彦実行委員長。

映画祭を裏で支えた芸短大生並びにAPU、NBU、九州龍谷短大の学生スタッフたち。まさに『大学のないまちに大学生があふれ、学び集う竹田』を象徴するイベントとなりました。



次世代につなげていく映画祭になってほしい

日韓短編映画祭学生理事 赤池 すずか
（大分県立芸術文化短期大学2年）

「また来年もやってくださいね」とたくさんのお客様から嬉しい言葉をいただき、感謝しています。

今回は開催が近くなるにつれて、スタッフにも焦りが出ました。短大は2年間。短い期間の中で人を育てなくてはなりません、次世代につなげていく映画祭になってほしい。

また、これから毎年開催を続けて行くなかで、地元のみならず積極的に参加していただけるような『映画祭』になればいいと思います。



千葉県から映画祭に訪れた外山 節子さん
「修学旅行以来の九州です。炭酸泉を楽しみにやってきました。イ・ミンギさんは、俳優としての姿勢が魅力。これからも応援したい」（写真左が外山さん）



「こんにちは！」デイサービスに通う児童に声をかける福祉事務所職員。返ってきた、いい笑顔。(こどもデイサービスセンター「ゆうゆう」)

地域でともに生きる。

あなたにできることが必ずあります

12月3日(金)から9日(木)までは『障害者週間』です

事故や病気などによって、障がいは誰にも生じ得るものです。障がいは多種多様で、外見では分からないものもあります。また、不自由さはあっても、周囲の理解や配慮があればできることがたくさんあります。障がいのある方の意見を聞いて、日常生活や事業活動の中で、できる配慮や工夫を一緒に考えてみましょう。

この日の『課題遊び』の時間は、ピザトーストづくりに挑戦。みんなそれぞれの味つけに大ノリ！(こどもデイサービスセンター「ゆうゆう」)



ウォークラリーで地域交流

地域に精神障がい者への理解を深めてもらおうと10月6日、『精神障がい者地域交流会実行委員会』は「竹田古町商店街ウォークラリー」を竹田市街地で開催しました。今回は22店舗が参加。

障がいを持つ参加者たちは、お店に着くと啓発のちらしを配布し、店員とのジャンケンゲームで楽しく交流を図りました。

○障害者自立支援法による支援 障がい福祉サービス(一部) (表1)

サービスの種類	内 容
居 宅 介 護	自宅で入浴、排せつ、食事の介護等を行います。
生 活 介 護	常に介護を必要とする人に、昼間、入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作的活動または生産活動の機会を提供します。
就労移行支援	就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力向上のために必要な訓練を行います。
就労継続支援	一般企業等での就労が困難な人に働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。
児 童 デイサービス	障がい児に、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を行います。
短 期 入 所	自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、施設に入所できます。
共同生活援助	共同生活を行う住居を提供し、相談や日常生活上の援助を行います。
施設入所支援	施設に入所する人に、夜間や休日、入浴、排せつ、食事の介護を行います。



社会福祉法人博愛会パルククラブ 課長 後藤 賢荘さん

働きたいという意思を受けとめる

一番大事なのは、利用される方がどのくらい満足ができるかということです。

昨年開設20年を迎え、利用者の高齢化も着実に進んでいますが、この経済の悪化のなかで、利用者いかに仕事を提供できるかということが、今の課題ですね。



社会福祉法人かぼちゃの国 NPO法人あんだんて 代表 茅野 明さん

地域ぐるみで支えよう

就労を支援する事業所があって、そこでイキイキと生きているんだということをもっと多くの人に知ってもらいたい。

障がい者は『特別な人』ではないのです。特別な目で見るとはならず、自然に捉えて、一緒に生きていける地域ができたらいいなと思います。

障がいがある方が利用できるサービスが充実し、一層の推進を図るために平成18年4月に障害者自立支援法が施行されました。竹田市でも19年度に「障がい者基本計画」、20年度に「第2期障がい福祉計画」を策定し、「障がいの有無に関わらず暮しやすいまち」をめざして取り組みを進めています。

障がいのある方が利用できるサービス(表1参照)はヘルパー、日中活動サービス、居住系サービス等、多くの種類がありますが、今回は「就労支援」と「児童デイサービス」を実施している主な団体

障がいがあっても、みんな自分らしく暮らしたい

を紹介しします。

就労移行支援サービス事業所「久住高原ばんころりん」は、無添加の素材を使った安全でおいしいパンを作りながら、一般就労に向けての支援をしています。

就労継続支援事業所は、イチゴや小ネギなどの水耕栽培やレストラン、温泉館などの就労の場がある「パルクラブ」、旧岡本幼稚園を改修した『やさしいハウス』にて人工光源を利用したレタスの水耕栽培に取り組む「のびる園」などがあります。

農場でカボス栽培や漬物、コンニャクの生産加工などに取り組む「やまなみ」は平成23年1月から自立支援法の適用となります。

また、市内で唯一の児童デイサービス事業所として、療育を中心とした活動を通して、子どもの自立に向けて一貫した支援をすることも「デイサービスセンター」「ゆうゆう」があります。

他にも市町村事業(相談支援事業、手話通訳者派遣支援事業、日常生活用具給付事業、移動支援事業等)や、所得税・住民税の控除、NHK放送受

信料の減免、重度心身障害者医療費の助成、住宅改造の助成、自動車税の減免、運賃などの割引等の支援を行っています。障がいの種類や程度によって利用できない場合や、利用者負担や所得制限がある場合もあります。

現在、『障がいのある人が何をしたいのか、何ができるのかを知り、その実現に向けて周りの人も共に歩む』という考え方に変わってきています。障がいの有無に関わらず、その人の生き方が尊重され、その人らしい地域生活が送れる社会は、みなさんの力で実現できるのです。

不安な気持ち、聞かせてください

障がい者やご家族の生活を支援するために各種相談や情報提供を総合的に行っています。介助、制度、住宅、生活、悩みなどの相談を受けています。

○竹田市委託相談支援事業所

名 称	住 所	電話番号
障害者生活支援センター	竹田市大字三宅 1763-1	☎ 63-9600
サポートセンターつばさ	豊後大野市三重町赤嶺 1927-1	☎ 0974-22-0313
心の相談支援事業所	竹田市大字竹田 1855	☎ 63-3346

●お問い合わせ 竹田市福祉事務所福祉係 ☎ 63-4811



↑心をこめたパンづくりに励む利用者たち(久住高原ばんころりん)



- ①久住の大地から湧く炭酸泉が特徴の温泉館(パルククラブ)
- ②和気あいあいとかボスの収穫作業に大忙し!(やまなみ)
- ③季節に左右されない就労の場を確保する「やさしいハウス」(のびる園)

地域福祉の向上に尽力

第5回大分県地域福祉推進大会が、10月20日に別府市のピーコンプラザで開催され、竹田市から29名、2団体が表彰状及び感謝状を受賞しました。(敬称略)

○受賞者

■大分県知事表彰

民生委員 児童委員

渡邊 文夫(桜町西)、足達千鶴子(仲原)

社会福祉施設等職員

田尻 富子(久住荘)、麻生 秀子(久住荘)

ホームヘルパー・母子自立支援員

伊東 竹美(大津留下)

■大分県知事賞

明るい高齢賞

川島 ウメ(上平)、高橋千賀子(小仲尾)

優良老人クラブ賞 第1和楽会老人クラブ

老人クラブ指導者功労賞

岡崎 周(下矢倉)

■大分県知事感謝状

民生委員・児童委員

牧 直子(上町)、福田 光明(茶屋の辻)、

阿南 徹治(東中)、上野眞智子(栃鶴)、

佐藤 信之(田井)、江藤 守久(吐合)、

首藤 春作(紺屋)、佐藤トミカ(中通)、

志賀 誠治(荻の迫)、志賀 清子(寺原)、

後藤 吉甚(柚木)、吉竹 勇次(湯の上)、

熊谷 明(牧ノ元)、榎木日出行(下町)、

後藤 正元(室)

身体障害者相談員

佐藤 一夫(高練木)、加藤 孝介(吉田)

■大分県社会福祉協議会会長表彰

自立更生者

阿南 秀喜(岩瀬)、浅倉久美子(下町)

■大分県老人クラブ連合会会長賞

優良老人クラブ賞 久住松葉会

老人クラブ功労賞

倉野 脩生(吉田)、羽田野浩士(田向町)



↑多くの地域住民が名画を鑑賞

『現代国際巨匠絵画展』開催

「華陽会しらゆり」の開所1周年記念チャリティー企画『現代国際巨匠絵画展』が11月13日から15日までの3日間、旧明治小学校体育館特設会場で開催されました。



↑「これまで支えてくれたすべての方に感謝です」と、受章の喜びを語る吉野さん

視覚障がい者の社会参加促進に尽力
『旭日単光章』を受章した

吉野 英明さん(73歳・桑畑)

「障がい者、健常者の両方の立場に立てることが良かったかもしれない」。

昭和60年に大分県盲人協会の評議員となって以来、理事、副会長、会長を歴任。25年の長きにわたり、視覚障がい者の権利拡大、自立・社会参加促進、社会的な地位向上に尽力されました。

吉野さんは市内の小中学校で教員をしていましたが、網膜色素変性症により昭和47年頃から視力が失われ始め、昭和55年頃に完全に光を失ってしまいました。当時は「変な格好して歩いて

いるのではないか」と周囲の目が気になり、教壇に立つことが一番きつかった時期だったと振り返ります。

その後、福岡視力障害センターで社会復帰をめざし、昭和58年に出身地の直入町で桑畑鍼灸治療院を開業しました。

県盲人協会会長を退いた現在も「以前に比べてある程度自立の条件も整ってきただがまだまだ充分ではない。これから障がい者の人たちが力を合わせて頑張っていく必要がある」と語っていただきました。

『気づく』ことから始めましょう！

障がいのある方が安心して自立した生活を営むことができるようにご協力をお願いします。

- ◇点字ブロックの上には、物を置いたり、自転車やバイクを止めたりしないでください。
点字ブロックは、視覚障がい者が安全に歩けるサインを送っています。その点字ブロックに物が置いてあったり、自転車が止まっていたりすると、転んだり、けがをすることもあります。



- ◇施設やスーパーの障がい者用駐車スペースは障がいのある方のために空けておいてください。
車いす利用の方たちは、車のドアを全開にしないと乗り降りが

- 困難なため障がい者用駐車スペースは広く設置されています。
また、歩行困難な方(杖をついている方など)は建物まで移動したり雨天時に傘をさしたりすることが難しいため、建物の入り口近くにスペースをとっています。
- ◇商品の購入などのご支援をお願いします。
障がい者施設等では、パンやクッキー、食肉、工芸品、農産物などの生産販売、建物清掃、除草作業など様々な事業に取り組み、その収益を利用者の工賃として支給しています。
商品の購入や業務の発注などの際には、是非ご利用願います。



新民生委員・児童委員が決まりました (任期はH22.12.1～H25.11.30)

●民生委員児童委員名簿

単位民編	地区名	氏名	電話番号	担当地区
中央	竹	中江 貫一	63-2391	西古町、東古町、浦町、慶順町
		藤村 憲雄	63-2398	中本町、下本町、東本町、下町
		後藤 健治	62-2790	府内町、向町、田町、新町
		牧 直子	63-2055	上本町、上町、寺町
		堀 美代子	63-2731	殿町、久戸、鬼ヶ城、上角東、上角西
	田	福田 光明	63-3309	溝川、山手、山川、茶屋ノ辻
		後藤 多美子	63-0202	鷹匠町、袖谷、岡城通り、提灯谷、南高校
		秦 今朝富	62-3237	片ヶ瀬
		後藤 雅子	63-3604	城北町、川向、挾田
		島田 克子	63-0012	
東部	岡本	金子 辰子	63-4374	濁淵、羽恵
		中城 昭恵	63-4426	宮山、坂上、真菰、上坂下、坂下
		河野 順子	63-4321	小賀、中村、立石、枝
	明治	吉野 俊一	62-2926	上平田、十一、小仲尾
		飯田 幸生	63-4074	長慶、橋宇津、前田平、田平、小高野
		阿南 哲也	63-4262	折立、荻迫、政所、鬼田
	豊岡	田部 憲治	63-1947	下木、上下木、赤坂、鏡
		後藤 玲子	62-3349	三砂、屏風ヶ淵
		猪股 寛司	62-3501	天神、田原、田原東、中飛田
	岡	吉野 秀俊	63-4692	上飛田、荒巻、坂折、塩付、下平田
甲斐 康信		63-2845	上鹿口、鹿口、上平、一本木	
秋本 禮子		62-2555	七里、千引、七里団地、ニュータウン七里、ニュータウン七里南	
主任児童委員		洪 容子	63-2589	
西部	玉来	森 邦子	63-1867	桜瀬、拜田原、阿蔵
		菊池 正次	62-3339	東、東中
		森 孝憲	63-3507	西中、西
		佐田 俊夫	62-2352	吉田、南山荘
		阿南 順子	62-3177	中尾、恵良
	松本	甲斐 恭司	62-3700	大正、岩本
		堀 洋一郎	63-1710	下田、穴井迫、薊菜、渡瀬、松恵
		後藤 洋勝	63-3727	向山田、漆迫、岩瀬
		佐田 繁子	63-1294	柘鶴、大津留上、大津留下
		岡崎 佳代	63-2455	松円、下矢倉、下矢倉団地、音羽
菅生	添田 和甫	65-2137	小塚、旧池部、池部、田代、上今、楠野、下今	
	佐藤 幸一	65-2433	平井、下菅生北、下菅生南	
	添田 紀夫	65-2151	原山、上菅生、中央	
	大塚 正則	65-2162	戸上、国方、西戸上、戸上南	
	主任児童委員	金丸 敦子	65-2130	
南部	入田	勤藤 清美	62-3546	小高野、矢原、河宇田、大仲寺
		廣瀬 庄子	62-2446	泉水、笹尾、長小野、大津留、出合
		渡邊 郁子	62-2761	牧、政所、姿岩本、太田原
	姫岳	佐藤 信之	67-2928	倉木下、倉木上、田井
		丸山 勝利	67-2557	吐合、井手の上
		阿南 有三	67-2710	名子、中角、辻原、横平
	宮砥	内田 雄一	67-2220	次倉、高山、宮戸
		後藤 淳一	67-2509	瀬の口、中央、妙見
		井出 三義	67-2039	田原、久小野、紺屋、緩木
	主任児童委員	吉良 萬壽夫	67-2404	滝部、百木、小川
北部	宮城	堀 正美	67-2252	
		甲斐 基史	66-2633	市用、下志土知下、下志土知上、下志土知、川床米納戸
		副田 正一	66-2235	川床下、上川床、志土知、久保炭竈、刈小野下、刈小野、上畑、三本松
	城原	渡邊 征士	66-2511	上坂田東、上坂田西、古園
		廣岡 尚美	66-2554	紙漉、米納、神町、宮の上、柚長
		麻生 伸枝	66-2005	雑ヶ平、上高伏、高伏、森屋
		志水 恵美子	66-3092	法泉、轟木、木原
		石井 猛夫	66-3167	下坂田東、下坂田西、下深迫、上深迫、福原
		後藤 道明	66-2612	神川、鉢山、北尾鶴、長田尾、小川、熊地
		河野 浩子	66-3163	
主任児童委員	花木 民美	66-2883		

■一斉改選による新民生委員・児童委員について

民生委員・児童委員について、一斉改選があり12月1日付で名簿の方々が生労働大臣から委嘱されました。

民生委員・児童委員は、皆さんの身近に住んでいる方で、その地域をよく知り、社会福祉活動に熱意をもっている方の中から厚生労働大臣が委嘱します。その活動に対しての報酬は支給されません。だれもが、住み慣れた地域や家庭で安心して暮らしていくには、共に支え合い、助け合う地域づくりが必要です。民生委員・児童委員は、関係機関と連携しながら地域づくりのお手伝いをしています。

家族や住居、健康のことなど、生活上のあらゆる悩み事をご相談ください。民生委員・児童委員には守秘義務があり、個人の相談内容や秘密が他に漏れることは絶対にありません。親身になって相談を受け、一緒になって考え、関係機関と連携を図りながら解決を目指します。安心してご相談ください。

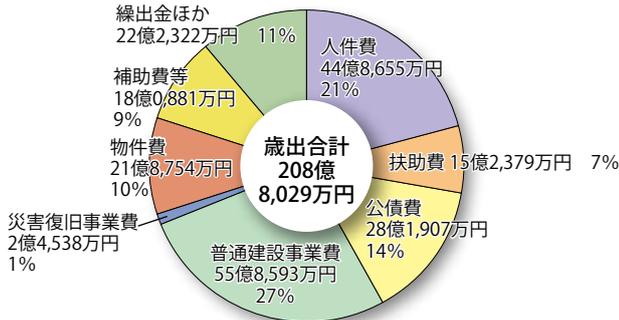
●お問い合わせ 竹田市福祉事務所 管理係 ☎63-4811

わたしたちがいつも見守っています

単位民編	地区名	氏名	電話番号	担当地区
荻原	荻	山村 直美	68-2865	馬場、高城
		大塚 英子	68-2510	桜町東、桜町南
		盛長 光子	68-2808	桜町西、桜町栄
		後藤 道雄	68-3410	桑木、藤渡
		徳永 重利	68-3562	木下、政所
	柏原	佐藤 精治	68-3462	新藤、南河内
		山村 千代美	68-2318	恵良原、馬背野
		藤原 勇	68-2608	仏面、叶野、高練木、大平
		三好 随義	68-2517	柏原、瓜作、北原
		佐藤 弘美	68-3219	陽目、宮平、田代
主任児童委員	濱中 克美	68-3254	西福寺、嶋田	
白丹	白	佐藤 清子	76-0820	仲原住宅、杉の原、中通、瀬戸、仲原、丸山、白丹住宅
		荒巻 千恵	76-1312	西小路、東小路、白丹町、添ヶ津留、米賀、尾登
	丹	佐藤 雄治	76-1777	梅ノ木、稲葉、タカノ巣、南稲葉、荻の迫、後山
		伏田 尚美	76-0601	寺原、陽谷、添ヶ津迫、宮原、菓原
	都野	齋藤 嘉昭	77-2263	仏原、須崎、石田、市
		衛藤 賢美	77-2087	千人塚、古市、冷川、栢木、馬場、池の口、千人塚本町、池の口住宅、千人塚栄町、千人塚中央、千人塚新町、さくら住宅、久住分校
		阿南 正敏	77-2517	老野、塔立、小倉、柚木、古屋敷、峰越四ツ口、山路、八山、向岳、まほろばの丘、小倉峠
		村田 きよ子	77-2674	板切、小柳、向原、石原、六反原、広内、法華院
		成安 康弘	77-2337	有氏、湯ノ上、七里田、塔の原、岳麓寺
		後藤 哲	76-0118	本町、道園、牧の元、新妍住宅
飯倉 孝司		76-0290	下町、阿蔵野、阿蔵野東、神馬	
志賀 紀美子		76-0508	今村、加良登、境川、加生島、青柳	
久住	後藤 慶子	76-0055	室、山中、建宮、平木、仲村、赤川	
	吉村 博	76-0465	新町、新町住宅、杉小野、飛森、桐迫住宅、田向町、田向住宅	
主任児童委員	佐名田 誓	77-2072		
直入	長湯	渡邊 政信	76-0694	
		小野 スミ子	75-2489	神堤、上野、四ツ口、栃原、日向塚、筒井、長野、南原
		大塚 信一	75-2625	桑畑上、桑畑中、桑畑下、新田、下河原、原、柚柑子、東原、日向、芹川団地
	湯	佐藤 美智江	75-2424	靱山、美晴が丘
		大久保 良子	75-3023	芋迫、南ヶ代、ドイツ村、南、スカイビュー、湯の香、大和町、尚栄町、新栄町、本町、上町、御前湯、天神町、長生湯、丸山、山脇、元町、花立
		安東 章子	75-2761	沢水、辻、冬田
	下竹田	清水 トシ子	75-3258	原口、名子山、釘小野、山中
		佐藤 美恵子	78-1211	城後、二又、梶屋
		甲斐 冬松	78-1138	橋木、仲村、草深
		森田 和美	78-1527	小津留、山浦、飛竜野、塩手
主任児童委員	藤田 利武	78-1033	藤目、須郷、平沢水、神の原	
主任児童委員	馬場 千鶴	75-2210		

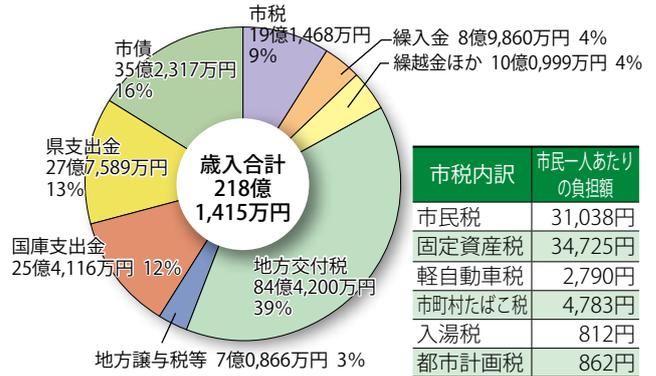
歳出 一般会計208億8,029万円 義務的経費に88億2,941万円

性質別に見ると、義務的経費(人件費・扶助費・公債費)が88億2,941万円です。全体の42%、そのうち借金返済のための公債費が28億1,907万円。投資的経費(普通建設事業費・災害復旧事業費)が58億3,131万円です。全体の28%、そのうち普通建設事業費が55億8,593万円。その他の経費(物件費等)が62億1,957万円です。全体の30%となっています。



歳入 一般会計218億1,415万円 依存財源が約82%を占めています。

平成21年度の一般会計の歳入は、218億1,415万円でした。内訳は国・県を頼りにした依存財源が179億9,088万円です。82%、竹田市の自主的な収入である自主財源は38億2,327万円です。18%となっています。また自主財源のうち市税は19億1,468万円です。歳入全体のうち約9%ほどです。



知らせします

国・県からの交付金などをどのくらいチェックしてください。

決算

地方自治法第243条の3第1項、竹田市財政状況の作成及び公表に関する条例第2条の規定に基づき、平成21年度の決算状況と平成22年度上半期の財政状況を公表します。

基金

基金残高は70億7,869万円

基金は、安定的な財政運営を行うため、特定の目的別に積み立て、または定額運用するために設けられた資金及び財産です。

竹田市の一般会計には27の基金があります。平成21年度は、地域活性化生活対策臨時基金が廃止され、一般旅券発給等事務証紙等購買基金が新設されました。

平成21年度の残高は、財政調整基金20億3,070万円、減債基金3億7,046万円、その他特定目的基金19種で44億4,519万円、定額運用基金6種で2億3,234万円です。



特別会計

厳しい経済状況が反映

特定の事業を行うために一般会計と区別される特別会計では、観光・宿泊施設において、景気の低迷や燃料費の高騰などのための減収が目立ちました。

会計名	歳入額	歳出額	差引
同和对策事業特別会計	138万円	2,333万円	-2,195万円
竹田市立こども診療所特別会計	1,911万円	1,859万円	52万円
畜産開発事業特別会計	1,697万円	1,697万円	0
長湯観光温泉施設等特別会計	7,201万円	6,803万円	398万円
竹田温泉施設花水月特別会計	5,490万円	5,490万円	0
国民健康保険特別会計	37億9,655万円	37億9,512万円	143万円
老人保健特別会計	750万円	750万円	0
後期高齢者医療特別会計	3億6,230万円	3億6,069万円	161万円
介護保険特別会計	29億8,626万円	29億7,319万円	1,307万円
簡易水道事業特別会計	2億6,132万円	2億6,120万円	12万円
農業集落排水事業特別会計	1億4,900万円	1億4,885万円	15万円
浄化槽整備推進事業特別会計	1億7,992万円	1億7,961万円	31万円
国民宿舍久住高原荘事業特別会計	3億1,235万円	3億1,225万円	10万円
国民宿舍直入荘事業特別会計	9,115万円	7,280万円	1,835万円

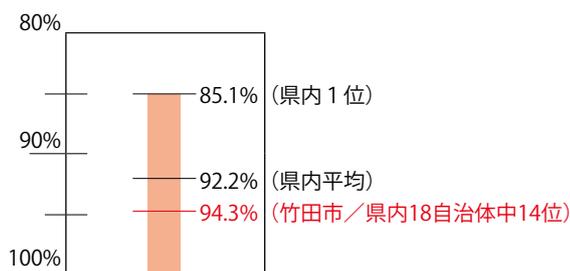
※同和对策事業特別会計については、平成22年度から赤字額を補てんした。

経常収支比率

平成20年度よりも改善

人件費、扶助費、公債費などの経常経費に、市税や地方交付税等の経常一般財源がどの程度投入されたかを見る指標で、この比率が低いほど普通建設事業費などの臨時経費に充当できる一般財源があり、財政構造が弾力性に富んでいることになります。

平成20年度の97.7%から平成21年度は94.3%と3.4ポイント改善しましたが、依然として財政状況にゆとりはありません。



地方債

借金残高は225億6,685万円

市民一人あたり約88万円

資金調達のために負担する債務で、一会計年度を超えて行われるものを地方債といいます。

平成21年度の地方債発行額は35億2,317万円で、主な事業はケーブルネットワーク整備事業、竹田中学校移転整備事業、道路改良事業等がありました。

借金残高225億6,685万円は、通常水準の行政サービスを提供するうえで必要な一般財源の目安となる標準財政規模の約2倍にあたり、今後、抑制していかなければなりません。



竹田市の財政状況をお

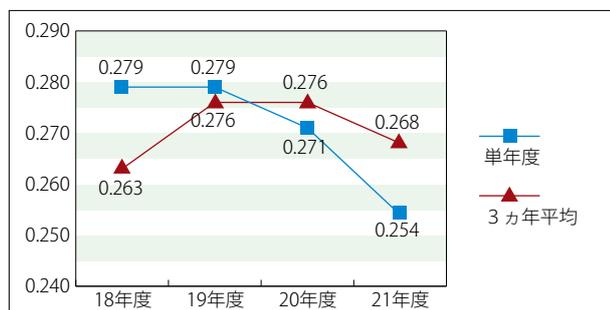
竹田市の平成21年度の決算がまとまりました。税金や収入し、どのように使われたのか、みなさんの目で、竹田市を

財政力

国への依存度が高い

基準財政収入額（標準的な財政収入）を基準財政需要額（標準的な財政需要）で割って得た数値の過去3年間の平均値を財政力指数といい、地方公共団体の財政力を示す数値です。

数値が1に近いほど財源に余裕があるということになりますが、竹田市は0.268で、今後も収納率の向上や企業誘致など財政基盤の強化が求められます。



健全化判断比率

いずれも早期健全化基準以下

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率を用いて地方公共団体の財政状況や経営状況を把握します。このいずれかが一定基準以上となった場合には、財政健全化計画または財政再生化計画を策定し、財政の早期健全化を図らなければなりません。

竹田市の実質赤字比率、連結実質赤字比率は赤字額がありませんでした。実質公債費比率は11.6%、将来負担比率は90.5%です。

健全判断化比率	竹田市の比率	早期健全化基準
実質赤字比率	—	13.21%
連結実質赤字比率	—	18.21%
実質公債費比率	11.6%	25%
将来負担比率	90.5%	350%

財産

土地・建物が増

平成21年度は、道の駅すごう設立に伴う土地・建物を取得したため増加しています。

市有財産の状況

財産の種類	財産状況
土地	36,020,060㎡
うち山林	14,034,686㎡
建物	233,522㎡
立木	351,513㎡
車両	202台



目的税

都市計画税と入湯税の使いみち

市税のうち都市計画税と入湯税は、特定の財政需要をまかなうために課税される目的税です。

都市計画税は、竹田市においては都市計画区域のある竹田地域の一部が対象となります。

平成21年度の都市計画税徴収額は2,199万円で、竹田玉来線街路事業負担金4,842万円と当事業等に係る地方債の償還金1億3,315万円に充てています。

入湯税は、竹田市では条例により日帰り客への課税を免除していますので、主として宿泊入湯客が課税の対象となります。

平成21年度の入湯税徴収額は2,072万円で、観光振興としてパンフレット製作、広告宣伝等の費用に充てています。

平成21年度 竹田市水道事業会計決算状況

収益的収入及び支出

収入額	1億9,033万円
支出額	1億5,906万円
差引	3,127万円

収益的収入及び支出は、水道事業の経営活動に伴い発生する収益と、それに対応する費用の収支をいいます。主な収入は水道料金で、支出は総係費、配水及び給水費等です。

1戸あたりの月額水道料金 4,120円(消費税抜き)

資本的収入及び支出

収入額	1,537万円
支出額	6,432万円
差引	-4,895万円

資本的収入及び支出は、水道事業の将来の経営活動に備えて行う建設改良等に要する収支をいいます。主な収入は工事負担金で、支出は建設改良費や企業債の償還金等です。不足額(4,895万円)は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額(100万円)、当年度分損益勘定留保資金(2,096万円)、減債積立金(1,699万円)、建設改良積立金(1,000万円)で補てんしました。

企業債残高

財務省財務局	2億7,355万円
公営企業金融公庫	3,447万円
計	3億 802万円

業務量

事項	平成21年度
年度末給水人口	7,672人
年度末給水戸数	3,483戸
給水栓数	3,746栓
年間配水量	1,332,315㎡
1日平均配水量	3,650㎡

固定資産の現在高

有形固定資産	13億9,464万円
無形固定資産	8万円

今後の竹田市

竹田市では、図書館や消防庁舎の建設など大型プロジェクトが控えています。それらを公共施設整備計画に基づき計画的に実施していかなければなりません。

今後も事務事業の見直しを行い、併せて予算規模の縮小を図ってまいります。また、組織・機構の見直しや定員管理計画に基づき、人件費等の経常経費の削減に努め、中・長期的な戦略を立て、将来を見据えた行財政運営を行ってまいります。そして、厳しい状況にあっても、『あったか対話行政』を大切に、市民のニーズに応えられる、市民が主役の街づくりに取り組んでまいります。

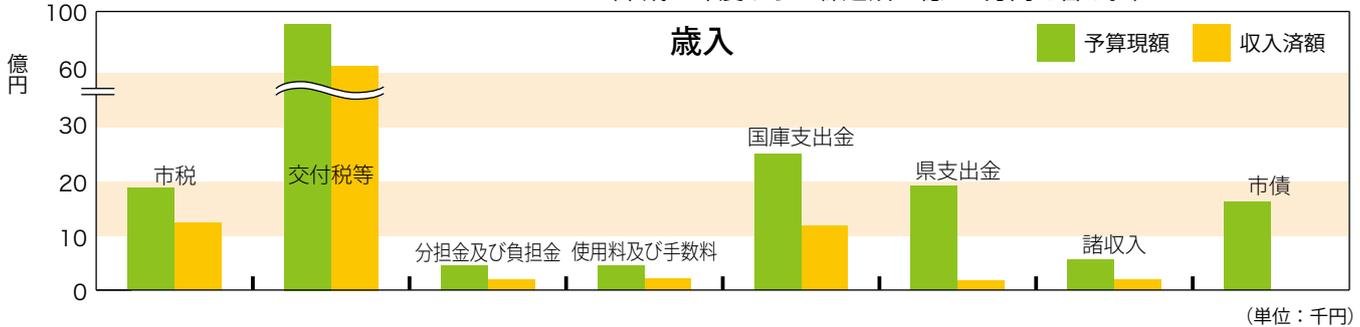
今後とも市民の皆様には広報紙やホームページ、そしてケーブルテレビなどを通して、竹田市の財政の状況をお知らせしてまいります。

平成22年度 上半期の予算執行状況をお知らせします

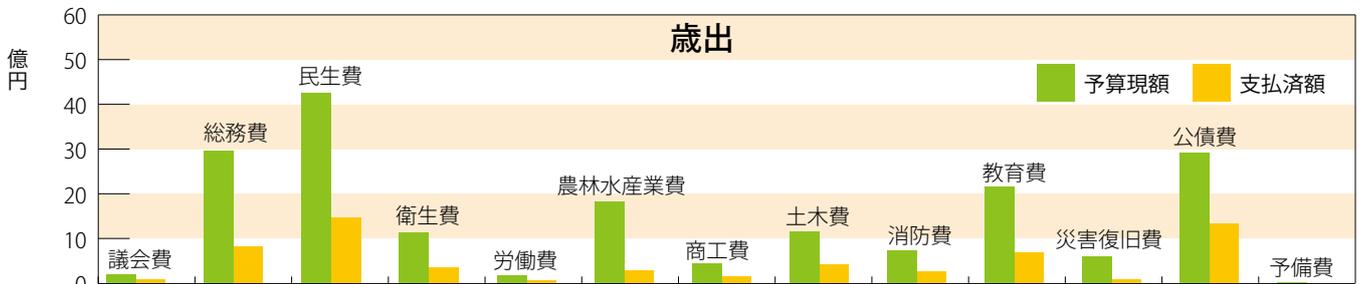
市民の皆さんに市の財政運営を知っていただくために、予算執行状況を年2回公表しています。
今回は、平成22年9月30日現在の執行状況をお知らせします。

一般会計 184億5,186万7千円

(平成21年度からの繰越額15億673万円を含む。)



歳入				歳出			
区分	予算現額	収入済額	執行率	区分	予算現額	支払済額	執行率
市税	1,856,747	1,222,311	65.8%	議会費	181,771	86,882	47.8%
交付税等	9,365,934	6,319,487	67.5%	総務費	2,948,403	805,027	27.3%
分担金及び負担金	336,627	96,135	28.6%	民生費	4,256,034	1,461,815	34.3%
使用料及び手数料	343,596	113,678	33.1%	衛生費	1,127,002	341,560	30.3%
国庫支出金	2,487,907	1,175,053	47.2%	労働費	168,524	60,136	35.7%
県支出金	1,895,248	76,040	4.0%	農林水産業費	1,807,638	273,469	15.1%
諸収入	551,908	83,283	15.1%	商工費	430,847	144,473	33.5%
市債	1,613,900	0	0.0%	土木費	1,154,451	412,893	35.8%
				消防費	726,637	263,587	36.3%
				教育費	2,145,406	681,401	31.8%
				災害復旧費	585,639	83,645	14.3%
				公債費	2,901,116	1,322,538	45.6%
				予備費	18,399	0	0.0%
合計	18,451,867	9,085,987	49.2%	合計	18,451,867	5,937,426	32.2%



特別会計の執行状況

会計区分	予算現額 (A)	歳入執行状況		歳出執行状況	
		収入済額 (B)	収入率 (B)/(A)	支出済額 (C)	支出率 (C)/(A)
国民健康保険特別会計	3,982,797	1,237,503	31.1%	1,598,735	40.1%
老人保健特別会計	6,157	91	1.5%	0	0.0%
簡易水道事業特別会計	246,498	48,203	19.6%	87,412	35.5%
介護保険特別会計	3,095,957	1,251,137	40.4%	1,252,377	40.5%
農業集落排水事業特別会計	136,655	57,817	42.3%	62,672	45.9%
浄化槽整備推進事業特別会計	203,722	41,423	20.3%	62,296	30.6%
国民宿舎久住高原荘事業特別会計	326,133	106,135	32.5%	141,939	43.5%
国民宿舎直入荘事業特別会計	97,297	34,763	35.7%	31,412	32.3%
同和对策事業特別会計	23,443	1,984	8.5%	22,170	94.6%
畜産開発事業特別会計	12,840	12	0.1%	12	0.1%
長湯観光温泉施設等特別会計	55,446	24,673	44.5%	18,144	32.7%
後期高齢者医療特別会計	408,968	103,483	25.3%	98,201	24.0%
竹田市立こども診療所特別会計	45,659	24,310	53.2%	17,795	39.0%

水道事業会計の執行状況

区分	予算現額 (A)	収入支出済額 (B)	収入・支出率 (B)/(A)
収益的収入及び支出	事業収益	191,258	48.7%
	事業費用	185,538	26.1%
資本的収入及び支出	資本的収入	3,644	10.4%
	資本的支出	88,089	26.3%

用語説明 「一般会計と特別会計」

一般会計は、市の予算の中心となる基本的な会計です。特別会計は、特定の事業を行う場合や、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般会計とは区別して経理する必要がある場合に設置される会計です。

●お問い合わせ

竹田市財政課財政係
☎63-1111 (内線231、232)



OROCHI

2019.11.10

A. Sunikawa

自分の才能を発酵させる肥料、それが人との出会い

昭和27年に川端康成氏が竹田高校で講演したことを記念して始まった講演会を11月10日、同校体育館で開催し、彫刻家澄川喜一氏が600人を超える生徒や一般入場者に感動を与えてくれました。



建設中の東京スカイツリー
(H22. 8. 30現在)



←講演会終了後、多くの生徒からスカイツリーの見所や進路に関する質問が出されました



すみ かわ き いち

彫刻家 澄川喜一

〔講師プロフィール〕

昭和6年島根県生まれ・山口県岩国工業高校を卒業後、東京藝術大学に学ぶ。同大学元学長で東京スカイツリーのデザイン監修者として活躍、文化功労者にも選ばれている。朝倉文生記念館・大分アジア彫刻展実行委員として大分県との関りも深い。
東京藝術大学元学長 東京スカイツリーデザイン監修者

高さ634m、東京タワーの2倍近い巨大建造物「東京スカイツリー」。そのデザインを監修した澄川氏を講師に迎え、川端康成記念講演会が2回目の歴史を刻みました。

幼い頃からふるさと岩国の「錦帯橋」に魅せられ、勤めた会社を辞めてまで、自分が決めた進路、芸術の道に進んだ澄川先生は「そりのある私たち」を創作活動のテーマにして彫刻家の道を歩みました。

スカイツリーに関しては、五重の塔の構造を参考に三点の基礎、つまり三角の形が上に行くにつれ円形に変わって

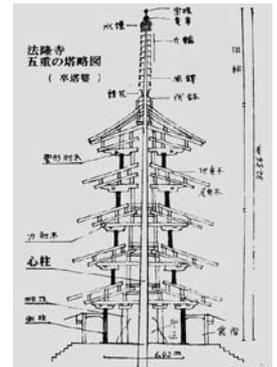
自分の道、それが目の前に見えることはない、自分が歩いて作るしかなく、振り返った足跡が道になる。周辺の人々の知恵を借り、支援をいただくことができれば、自分の道は見えてくる。

そのためにも出会いを大事にして人生を送ってほしい。

澄川先生の締めくくりに言葉に大きな感動の拍手が送られました。

生きた上で一番大切なことは「人との出会い」と話す先生は、様々な出会いを通じて今日の自分があり、絆を深めることこそが、才能を発酵させる肥料になると、未来を模索する生徒を前に分かりやすく講演していただいたのでした。

いく不思議な魅力を、古くから伝わる日本の建築技法「そり」で表現することに成功しています。



↑スカイツリーには五重の塔と同じような中心部における構造を残したデザインになっているという

2度の大水害を教訓に 稲葉ダム完成

竹田水害緊急治水ダムとして国の事業採択を受けた稲葉ダムが計画から約20年の歳月をかけ完成し、11月7日、竣工式典が刈小野と久住町白丹地区にまたがるダム堤体で行われました。



竹田市民にとって悪夢の7月ともいえる昭和57年と平成2年の集中豪雨は、11人もの尊い命を奪い、500億円以上の甚大な被害を残すまで降り止むことはありませんでした。特に平成2年は、市内中心部を流れる稲葉川と玉来川が氾濫し、いまだに至る所に大きな爪あとを残しています。あのいまわしい記憶を拭い去ることはできませんが、水

害で学んだ市民相互の助け合い精神を生かし「災害に強いまちづくり」が形として現れたのが河川改修と組み合わせた稲葉ダムの建設です。総事業費約440億円、幅233.5m、高さ56mの重力式コンクリートダムが市民に安心、安全を届けてくれることは間違いありません。同時に国の事業採択を受けながら新政権での再検証対象となつている、もう1つの防災の要「玉来ダム」の完成に向けた取り組みが期待されています。

農村文化研究のため竹田に訪れた東大生からのメッセージ

竹田雑感

東京大学景観研究室修士課程1年 中島 穰

景観研究の立場から(12)

大学の近くに、昔ながらの町家や寺が残る独特な風情で近年注目を浴びている、『谷中』という寺町があります。先日、その谷中にある大正時代の建物を改修した、人気珈琲店を訪れました。そのお店で出されたメニューには「かぼすのバターケーキ」というものがあり、大分県産のかぼすを使っていると書かれていました。迷わず注文し、さらにいても立ってもいられずお店の方に尋ねたところ、竹田のかぼすであることを教え下さいました。

あとで聞いた話では、谷中は朝倉文夫彫塑館や岡藩城主中川久恒の正室のお墓があるなど、竹田に縁のある土地だそうです。

その時は恥ずかしながらも何も知らず、偶然出会った「東京の竹田」に、地球の裏側で親友と再会したかのような、驚きと喜びを覚えました。それと同時に、わずか2回の滞在でこのような感情が湧くほどに、竹田に愛着を持つている自分に気づき、不思議に思いました。

私の中にいつの間にか生まれてきたこの愛着はどこからきたのか。竹田滞在中に深くお話しさせてもらったのは、市役所で働く方など、日頃から竹田のまちづくりについて熱心に考えている方々が主でしたが、飲みに入つたお店の方や通りすがりにお話を伺った方も、昔の竹田について話しているうちに、次第

に熱くなつていくことがしばしばありました。私の愛着は、竹田で出会った人達のそのような「竹田愛」に因るものなのだと考えています。私がかつての竹田を、それを知る人々の目を通して見ているうちに、彼らの竹田への想いも共有し始め、知らぬ間に愛着が生まれていったのだと。

生まれた場所ですら、高校までの18年を過ごしながら、熱く語れるような想いが無い私には、竹田のみなさんをうらやましく思うことがあります。なぜ竹田に住む人々が、自分たちのまちに(とても深いように見える)愛着を持つているのか。生まれた町だからあたりまえなのか、それとも他に大きな要素があるのか。次に竹田を訪れたら、調査の合間に探ってみようと思います。

ちなみに、かぼすのバターケーキ、とてもおいしかったので、竹田で再会できることを期待しています！



↑ 首藤市長、広瀬県知事や多数の国会議員も出席し、堤体上でくす玉開披を行い、完成を祝いました

有由縁

市長コラム
〈第17回〉



おうめい 嚶鳴フォーラムが 授けてくれた力

有由縁(ゆうゆゆうえん)

文豪川端康成が晩年、よく揮毫したのが『有由縁』。人との出会いや物事との接点が生まれるのは、偶然ではなく、それなりの理由が働くからであるという意味。

昭和27年、取材旅行を兼ね、友人高田力蔵の案内で竹田市を訪れ、竹田高校で講演した川端との縁は、まさに目には見えない力だけれど、神の配剤としか思えない。

竹田市のホームページ「こんにちは市長です」
(URL) <http://www.city.taketa.oita.jp/mayor/>



↑嚶鳴フォーラムで行われた市長サミット

嚶鳴フォーラムが予想以上の成果を授けてくれました。800人を超える参加者を得たことはもちろんですが、全国13自治体の皆さんとの交流が深まったことに加え、童門冬二先生の見識の高さに触れ、さらにはNHKの解説委員石川一洋さんらとの出会いは、その後の竹田市の国際交流の輪を急速に広げていくことになるのです。

ところで、この嚶鳴フォーラムを提唱された愛知県東海市の鈴木淳雄市長さんの構想と、その源流を生み出した細井平洲先生の教えには、いまさらながらに感服します。細井先生の教えを童門先生の解説でわかりやすく表現すれば『為政者は民の父母でなければならぬ』となります。あらためて、政治政策の原点を支えるべきは市民の声であるということを知らされます。そして、この平洲先生の門下生にはかの上杉鷹山がいるわけであり、ますます、みんなの視点には『いかにして民の幸せを願い続けていくべきか』という崇高な精神が宿っていることに気づかされるのです。これこそ、今を生きる私たちの使命として引き継がなければならないし、私を含め公の職に就く者の一番重要な心構えでなければなりません。

りよがりの判断をすることは最も危険です。その事が重要であればあるほど、謙虚に幅広い見識を求めるときであり、先の見える有識者の意見を聞くという姿勢が必要不可欠です。今、竹田市の抱える課題。言い換えれば、大きな可能性を秘めている政策は少なくありません。これらは前例のない、つまり全国的に見ても先導的な魅力をもっているだけに慎重に、しかし勇気を併せ持つて挑戦していきたいものだと思っています。

ところで、竹田市では今年も中学生10名をドイツに派遣しました。結句式で彼らが述べた言葉は印象的でした。「異文化に触れて、竹田市や日本の素晴らしさを見出した」。中学生とは思えない立派な視点です。日本を離れて、外国の素晴らしさを知ると同時に、初めて日本文化の良さにも気付くかもしれないというのです。ややもすると自分の知らないことを否定したり、知らないことから遠ざかるうとする風潮がある中で、敢えて知らないことに興味を持ちたいとする彼らの勇氣に、未来への可能性を感じましたし、「大人が夢を持たずして、夢多き子どもが育つはずはない」と叱咤激励を受けたようでもありません。

お金も情報も今よりさらに制限されていた時代に、自分たちならではの考察を重ね、実践をし、歴史的な成功を導きだしたわが国の先人たち。未来を信じて地域を導いた人間力をあらためて意識させてくれた嚶鳴フォーラムに私は今、深く感謝しているのです。

第2次TOP懇談会はじまる



竹田市では「あつたか対話行政」の一環として、平成22年度第2次TOP懇談会を開催します。今年度は各地域自治会長や諸団体から要望を受けて、首藤市長や関係職員が出席します。これまでの市政に対する取り組みや地域振興策など意見交換を行います。萩地域では10月28日に開催され、農業振興問題や中九州高規格道路・高齢者対策等について活発な意見が出されました。

●お問い合わせ 竹田市総務課
☎63-1043 / 萩支所いきいき市民課☎68-2211 / 久住支所いきいき市民課☎76-1111 / 直入支所いきいき市民課☎75-2211

竹田在住の野球・ソフトボール専門ライター

か けいすけ
加来 慶祐 (玉来西・34歳)

今秋、高校野球各地方予選から甲子園決勝までの試合の8名のライターによる観戦記「検証甲子園2010」が発売されました。そのライターのひとつが、竹田在住のスタジアムライター・加来慶祐さん。

プロとしての修業を積み、九州を中心とした活動をするために帰郷。タイミング良くソフトボールの町・竹田で行なわれた「全日本総合選手権」や「国民体育大会」の取材で、実績を積み重ねたことが『自信』となり、今の活動における最大のベースになっていきます。

取材の心得は、取材相手がどんなベテランの大物選手や高校選手であつても変えない、『すべて対等でいよう』

とすること。嘘や大げさなことは書けない。相手と同じ目線で向き合うことで、心を開いてくれるそうです。

「私の記事によって地域の選手たちが刺激され、地元出身のプロ野球選手が誕生することに繋がってくれるといい。」

母校甲子園出場の夢を抱く加来さんが語る野球への思いは、熱い故郷愛にあふれていました。



↑『検証 甲子園2010』(田尻賢吾・編著/講談社) 加来さんもライターとして初の著書となる1冊!

母校の甲子園出場を
原稿執筆することが間違いのない夢



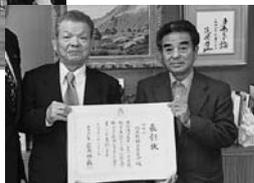
プロフィール
竹田高校卒業後に上京し、出版社勤務などを経て2005年に独立。2006年に拠点を竹田へと移し、九州・沖縄の野球、ソフトボールを取材。年間この2競技だけで300試合を取材している。九州唯一の野球・ソフトボール専門ライター。

「高校野球を取材するようになって、多少姿勢が良くなりました」と話す加来さん



←阿鹿野獅子

表彰状を手にする左から保存会会長、加藤征一副会長 →



伝統文化の輝きが県知事表彰受賞

城原八幡神社に伝わる阿鹿野獅子。稲葉ダム竣工式典の折にもダム堤体で披露されました。(写真上)

11月3日、阿鹿野獅子保存会(渡邊一夫会長)は、永年にわたる伝統文化の継承や振興に寄与されたことが評価され、大分県知事から表彰状を授与されました。これからは獅子の舞い、そのきらめきが宮城地区以外でも輝くことが期待されます。



↑日本のロケット(H2A)の実際の外壁、フェアリングを子どもたちに触ってもらおう。「軽〜い!!!」とびっくり。ロケットは、90%が燃料のため、軽くて丈夫な素材が使用されているそうです。

JAXAの菊池優太さんが母校で『宇宙教室』開催

11月8日、宇宙航空研究開発機構(JAXA)・宇宙教育センターの職員、菊池優太さんを(竹田市出身・28歳)を講師に招き、宇宙について興味や関心を高めてもらおうと『宇宙教室』が南部小学校体育館で行われました。

菊池さんは、母校の後輩たちを前にロケットや人工衛星の仕組みを実際の発射映像を見せながらわかりやすく解説をしていました。

また、宇宙に興味津津の児童たちは「宇宙人はいますか?」、「人工衛星はなぜぶつからないの?」など目を輝かせながら質問をしていました。

講演の最後に菊池さんは「なんでも興味を持って、いろんなチャレンジをしてください」とメッセージを贈りました。



↑一番搾りによるギターデュオ (豊音寺)

恒例の点灯カッパルは、北海道の旭山動物園に勤務する奥山英登さん、由紀子さん、お子さんもご一緒でした



→



↑月光との競演 (武家屋敷通り)

晩秋の竹田を彩る竹灯籠の灯り

第11回たけた竹灯籠「竹葉」が11月19日から21日までの3日間、竹田市街地で行われました。晩秋の城下町を彩る約2万本の竹灯籠の灯りが幻想的な世界を演出、期間中の晴天も後押しし、史上最高の延べ11万人の来場者で賑わいました。

十六羅漢や廣瀬神社などで灯された竹灯籠に加えて、ミュージシャン樋口一さんのミニコンサートや地産地消の屋台村など、観るだけでなく、聴いて、食べて満足できる催しに、会場は大盛況の光に覆われていました。

第3回奥豊後の盆踊りを楽しむ夕べが10月30日、竹田市文化会館大ホールで催されました。今年、『長湯音頭』、『倉木盆踊り保存会』、『入田・豊岡分館みんなで踊ろう竹田民謡教室』などが参加。会場に訪れた観客は手拍子を打ちながら、盆踊りの音色を楽しんでいました。



↑万葉の里・城原もみじ祭り

11月7日、第11回万葉の里・城原もみじ祭り並びに敬老会が城原・旧朝日酒造酒蔵で行われました。

城原小学校児童の合唱や城原詩道会の詩吟など、地区をあげての発表会に地区住民の皆さんは楽しいひとときを過ごしました。

地域で楽しむ紅葉と文化のまつり



↑九重野 in 緩木森林公園祭り

11月7日、第23回九重野 in 緩木森林公園祭りが九重野・緩木森林公園で行われました。

恒例のジャンボ巻き寿司(71疋)体験では約120人が参加。無事途切れずに出来上がると万歳三唱を唱え、喜びを分かち合いました。



地域への愛情が深まる盆踊り

合併前から続いている地域の恒例イベントが、萩直入両地域で相次いで開催され、地元の方のみならず、市内外から来られた沢山の来場者で終日賑わいました。

11月3日に荻福祉健康エリアのグラウンドなどで行われた「第5回トマト天国 in 萩・第31回萩ふるさと祭り」(写真上)は名物の大なべトマト料理リゾットを



↑トマトリゾットが待ちきれない～



↑子どもたちの演奏に大きな拍手

イベントに沸く 秋深まる ふるさとの大地

目当てに過去最大規模の人々に溢れ、会場は真っ赤に熟したトマトのように興奮に包まれました。

14日、直入支所周辺で行われた「第34回直入地域ふるさと振興祭」(写真下)もさわやかな秋晴れの天候に恵まれ、恒例の幼稚園児などの合奏で盛り上がりを見せました。



←料理の内容やマナーについて説明する成安料理長(後方左)と、随行の首藤さん

南高校生にスペシャルな贈り物

10月28日、竹田南高等学校で「食を通じて生徒の学びを応援する取り組み」を行い、久住町出身で別府市の杉乃井ホテルで腕をふるわれる成安宣言洋食総料理長が来校し、生徒と一緒にフランス料理を調理しました。

メインデッシュは地場鶏肉のグリル「クラブデイナー」竹田香母酢の香り。併設のしらゆり幼稚園児と南高校生がプロの味を堪能しました。



↑11月12日、フランス在住のジャネット・ルール画伯が南高校を訪問。美術同好会と共同制作は貴重な体験となりました



みてみて自慢のクーニャン

11月5日、直入愛育まつり&見てみてクーニャンコンテストが直入総合運動公園で行われました。中国野菜クーニャンの出来栄えを競うコンテストの結果は次の通り。

最優秀賞・後藤元義(仲村) / デカデカ賞・工藤トシ子(須郷) / ムシ虫賞・熊田洋子(橋木) / ミニニ賞・佐藤京子(仲村) / 会長賞・佐藤昭裕(山脇) / 議員賞・工藤八佐子(須郷) / 保健所長賞・塩手吉良子(山浦) / 支所長賞・佐藤恵美子(城後) (敬称略)

第1回廣瀬武夫杯争奪少年柔道大会開催

11月23日、県内18の道場やクラブから216人の少年柔道家が集い、第1回少年柔道大会が竹田市体育センターで開催されました。

廣瀬武夫顕彰会と市柔道連盟が主催した大会は、団体戦と個人戦を行い、最初のメダルを授与されたのは、直入柔道クラブの渋谷万葉ちゃんでした。(写真は同クラブ馬場温都くんと決勝戦の様子)

2人が出場した幼児の部から小学校各学年を基本に軽量・重量別とした個人戦各部と15チームが参加した団体戦の上位3位までが表彰されました。



↑マラソン入賞者のみなさん(工藤英信さん、佐田修一さん、堀勇進さん) [写真左から]

阿部忠治(80歳)さん→



ねんりに刻まれる大活躍!

10月28日から31日にかけて、第21回豊の国ねんりんピックが開催され、竹田市からも多くの選手が参加し活躍しました。

主な成績は次の通り。

- 三世代交流健康マラソン
【一般男子40歳代 3.4km】優勝・佐田修一(11分12秒) / 準優勝・堀勇進(11分18秒)
【一般男子50歳代 3.4km】優勝・工藤英信(12分13秒)
- ゴルフ交流大会
【グロスの部】第3位・阿部忠治(80歳) [敬称略]



「柔道が大好きでこれからも練習にがんばります」

廣瀬武夫の品格を高めた柔道を通じて、万葉ちゃんのような言葉が沢山聞ける大会になってほしいと願っています。



稲葉川を豊かできれいに



交流の輪 いつまでも

南部小学校の児童が6月に贈った蛍のお礼として11月5日、国立別府重度障害者センターの皆様が訪れ、同校体育館で歓迎会やスポーツ交流が行われました。



無事故の 願いをこめて

佐藤トクエさん(山浦)と小原セツ子さん(塩手)から手づくりの交通安全ストラップ(80個)をいただき、高齢者を対象とした交通安全教室にて配布されました。



↑口伝の祝い唄「ヨイヤナ」を披露する
阿南ヒサコさん(神原地区)



↑『薬膳まんじゅうバイキング』
(あじさい農産加工所)



←佐藤双美さんちで味噌玉づくりに挑戦。みんなで作る楽しい。



←ガラス温室栽培で育てた『エコト』をがぶり！忘れてられない、初めてのトマトの味(農事法人エコファーム21)



↑「うま〜い!!!」自家製ジャム! 巻き寿司! そして、おばあちゃん的笑容ごちそうさま! (好評だった緑側カフェ)

大自然の恵み丸ごと体感!

「食づくり」と「観光(ツーリズム)」をリンクさせた新しい着地型ツアーを知ってもらおうと、竹田市経済活性化促進協議会主催による『食育ツーリズムツアー』が竹田市民モニター等が参加し、10月26日から11月4日にかけて、「祖母山麓・天と地の恵み」地域資源丸ごと活用術の巻」と「作り手の想い」無添加トマトジュースと味噌玉の秘密」の2つのコースで実施されました。自然に囲まれた環境の中で、参加者たちは地域資源の恵みを堪能していました。

今回のツアーに登場した「緑側カフェ」。雄大な祖母山麓にある地域の農家を訪問。地元では見慣れた風景も観光客にとっては絶景です。さらに、田舎のおばあちゃんの温かいおもてなし。何もないことが贅沢であり、そこに暮らす人々とのふれあい。「食」と「観光」が新しい活気を生むのかもしれない。

姉妹都市交流

仙台特産品フェスにカボス初登場

姉妹都市・宮城県仙台市で10月16日、宮城県の特産品を集めた「みやぎまるごとフェスティバル2010」が開催され、竹田の特産カボスが出品されました。

その一部は宮城産のカキに添えて振る舞われると来場者には大好評でした。



↑島谷留美子仙台事務所副所長が、地元仙台で竹田のカボス普及に一役!

石垣修復を間近で見学することができ『史跡岡城跡特別公開』として10月30日、31日の2日間にわたって、復元が完了した家老屋敷や発掘作業現場の公開等が行われました。



↑但見屋敷跡の石垣修復作業

岡城の魅力を現場で学ぶ! 『史跡岡城跡特別公開』

参加者は学芸員等による解説に熱心に耳を傾けながら、岡城の歴史に対する興味を深めていました。



↑実演された石割作業

平成22年度 竹田市功労者表彰式



永年の功績をたたえて

平成22年度竹田市功労者表彰

竹田市では、市に功労のあった個人及び団体に対し、毎年表彰を行っています。

11月3日、竹田市総合社会福祉センターで表彰式が行われ、首藤勝次市長から表彰状が個人7人、2団体に、感謝状が2人に、また田邊直勝教育委員長から2団体に表彰状が贈られました。(敬称略)

市長表彰

○社会民生

清水マツエ(柚長)

18年の永きにわたり愛育保健推進員を努め、地域住民の健康増進に寄与されました。

藤村 憲雄(東本町)

10年の永きにわたり民生・児童委員を努め、地域福祉の向上に寄与されました。

○産業

山井 仁(初山)

13年の永きにわたり公有林保護巡回員・竹田市造林委員を努め、公有林の保全育成に寄与されました。

古庄 京子(轟木)

11年の永きにわたり農業委員会委員を努め、農地の確保と有効利用を進め農業の発展に寄与されました。

○環境

高橋 軍人(恵良原)

28年の永きにわたり県道高森竹田線の空き缶等ごみ拾いに取り組み、道路の環境美化に寄与されました。

○地方自治

中村 憲史(南稲葉)

11年の永きにわたり市議会議員及び町議会議員として地方自治の発展に寄与されました。

吉竹 悟(有氏)

11年の永きにわたり市議会議員及び町議会議員として地方自治の発展に寄与されました。

古島眼科医院(寺町)

10年の永きにわたり3歳児眼科検診を古島眼科医院において無償で実施、早期発見及び重症化予防に寄与されました。

竹田ほほえみの会

10年の永きにわたり精神保健ボランティア活動を実施、障害者の回復を支援するとともに暮らしやすい地域づくりの推進に努め、精神保健福祉の向上に寄与されました。

教育委員会表彰

九州電力グループ

31年の永きにわたり関連会社を含めた九州電力グループで岡城跡の石垣清掃ボランティア活動を行い、本市の史跡公開及び観光振興に寄与されました。

荻神社俵案(新藤)

17年の永きにわたり「荻町子ども神楽クラブ」発足当初からその指導にあたり青少年の健全育成と無形民俗文化財の継承に寄与されました。

市長感謝状

和泉 昭二(熊本市)

13年にわたり岡城跡や城下町の写真を岡城料金所に寄贈され、本市の文化観光振興に寄与されました。

財津 圭吾(玉来東)

グラランドピアノを寄贈され、本市の芸術振興に寄与されました。

「佐藤義美さんって、 どんな人だったんですか？」



今月12月16日は、童謡『いぬのおまわりさん』で知られる竹田出身の童謡童話作家佐藤義美さん（昭和43年没）の42回目の命日です。

佐藤義美記念館を訪れるお客様からよくたずねられるのは……

「佐藤義美さんって、どんな人だったんですか？」

今月号では、名誉館長の稗田宰子さんによる『おへんじ』（『竹田の月』より）を全文掲載します。

随想「佐藤義美さんって、 どんな人だったんですか？」

稗田宰子

詩人で、童謡・童話作家の佐藤義美は、明治三十八年（一九〇五）二月二十日、日露戦争の真只中に生まれています。長寿国日本、まだ生きていても不思議はないのですが、佐藤義美は、六十三歳で、この世を去っています。

義美がこの世を去って三十年。佐藤義美を顕彰する「竹田童謡祭」が始まり、その十年後に「佐藤義美記念館」が建設されました。開館は、平成十年四月十九日でした。



小学生の頃の佐藤義美（中央）、父母兄弟たちと。昭和40年頃、目黒区平町の自宅にて。写真左が童謡「犬のおまわりさん」を作曲した佐藤義美に、芸術的感性をもたらし、父・平太郎

佐藤義美記念館に入館した人たち、見学者も、新聞社や報道関係の取材の人の、ほとんどの、第一の質問は、「佐藤義美さんって、どんな人だったんですか？」でした。

「どんな人だったんですか？」に答えるのは、問口が広すぎて、どこに焦点を合わせるか、結構、難しい。

「どんな人？」を、外見で答えるなら、佐藤義美の場合は、身長一メートル七十七センチ。骨組みはしっかりしているけれど、贅肉はほとんど無く、体重は、四十八キログラム四十九キログラム止まり。五十キログラムになったことがありません。

学歴で答えるなら、早稲田大学英文科に入学。途中で国文科に変わり、大学院修了。そして、佐藤義美が、なぜ、童謡・童話作家になったかを、話すことになります。

義美は、中学生初期から詩や童謡も書いていましたが、画家志望の少年だったのです。竹田という土地柄と、父平太郎（雅号泉戀）の存在と、そのDNAがそうさせたのでしょう。

義美の父・平太郎は、若い頃から、画家を志し、画塾は、朝倉文夫と同門だった

とか。



佐藤義美 作品「住居の自由」（佐藤義美記念館）

大分師範を卒業後、鹿児島師範や、小倉師範で、図工の教師を勤めながら、自分の絵を描き続けていました。日本初の国展帝展に、小倉から出品し、見事入選し、第一室に展示されています。そして、当選の翌年には、平太郎は、横浜の視学になつて、小倉を立ち、都市圏に進出を果たしています。平太郎は、画家としての才能と、先を見ることの出来る実行力のある人物だったのです。

父の横浜への移住で、竹田中学から、横浜第二中（現・横浜翠風高）に転校した義美は、父・平太郎と、横浜の風景をスケッチしています。横浜に引越して三年目の大正十二年九月一日の関東大震災に遭い、家は全壊焼失します。

当時、平太郎には、フランスに絵の修業に行こうという夢があつて、絵を描きためていました。家がよほど裕福でないかぎり、フランスへ行きたい画家たちは、描きためた自分の絵を親類縁者に買ってもらうって、フランス行きの費用を作るの



佐藤平太郎 作品「海浜風景」（竹田市立歴史資料館）

が当時大正時代の常識だったので。その描きためた絵を、佐藤平太郎は、関東大震災で家もろとも全部焼いてしまった。そして、その時、佐藤義美の絵も、絵を描く道具も、全て、焼けて灰になってしまった。

つまり、関東大震災のために、義美の父・平太郎のフランス修業の夢は断たれ、自分自身は画家にならないで、東京の視学として、後に文部省に入り、美術の教育家として、多くの実績を残すことになりました。義美も、画家にはならないで、詩と童謡作りに専念するようになりました。画家にはならなかつたけれど、佐藤義美の仕事から、絵を外すことは出来ません。

「童謡、童話は、言葉で絵を描くように作らなければならぬ」と言っています。事実、佐藤義美の作品は、読むことによって、歌うことによって、豊かな背景が、風景が見えてきます。

そんな作品造りを可能にするには、子どもと同じような感性、清らかな目、好奇心、生き生きとした体力。

「海辺へ行ったとき、すぐ、はだしになつて、走りだしたくなくなつたら、童謡や童話は書けないし、書いてはいけない」と言う、佐藤義美です。

先哲史料館 冬季企画展 『おおいたの博物館』

期間 12月4日(土)～1月23日(日)
場所 大分県立先哲資料館
(大分市大字駄原587-1)
内容 県内7か所の博物館等の魅力を紹介。
今回、佐藤義美記念館から資料を展
示しますので、ぜひお立ち寄りくだ
さい。
入場料 無 料
●お問い合わせ 大分県立先哲史料館
☎097-546-9380

「童話とは、躍動そのものの表現」と言
う、佐藤義美です。
佐藤義美さんって、そんな人だったん
です。

今、小学校の現場の先生方に、「佐藤義
美って、どんな人？」と、問えば、おそらく、
戦争反対の作品を書いた人と言われると
思いますが、それは、平和集会で盛り上
がるような種類のものではなく、生命に
対する、根源的な哲学というか、深く重
たいものでしょう。

佐藤義美が、自分の仕事をどのように
考えていたか、義美最晩年の、自選短編
童話集『王さまの子どもになってあげる』
のあとがきで、見てみましょう。

あとがき

私の童話の主題は、自他の生命を大切
にすることに始まって、そのことで終わっ
ています。

佐藤義美

単純のように思われるけれど、それはむ
ずかしい単純さです。自他の生命をたい

せつにすることは、自分の生命をたいせ
つにすることから始まります。貧困、戦争、
病氣、事故などから死をまぬがれること
は、自分の意志だけではよりません。他
のちからが大きく作用してきます。

私たちは意志的に生まれていないから、
目的とか価値とか、人生をアトラクティブ
に肯定するとかの問題は、私たちの創造
の問題になってきます。それで、人には
芸術が必要になってくると私は考えます。

この本の童話は、人びとが、小学校
二・三・四年の時期に読んでくれるように
限定して、一九四五年に人類が核爆弾を
使用してからあとの作品でありたいとね
がってかきました。けれども、私は、イ
デオロギー、政治、宗教などは、責任が
持てないから避けています。

一九四五年以後に、アンデルセンや、宮
沢賢治の童話がかかれなことはさみし
い。けれども、私は、かれらの残した童
話にあともどりすることはできません。

私は、六十歳までの時間を童話と童謡に
かけました。生きている間は、一歳の人
と同時代のものとして、まえむきに、こ
の仕事を進めていきます。

私は、童話を書く資格があるかないか。
私の童話は、一九四五年以後の文学に
なっているかどうか。私は私に、いつも
質問していなければならぬと考えてい
るのは当然です。

コドモを主体とした世界平和をせつに
祈りつつ。
(一九六五年四月十三日)

佐藤義美が、最後の仕事として取り組
んでいた長編原爆童話「他人の痛さ」が執
筆半ば、完成しないまま、亡くなったの

は、本人もさぞ心残りで、残念でしょうが、
読者としても、とても残念で、口惜しく
さえ思えます。その未完の作品と、六十三
歳で亡くならなかったら、もっと素晴らし
い作品を発表してくれたはずと、年齢と
は関係なく、志なかばで亡くなった、佐
藤義美の事を考えるのも、
「佐藤義美って、どんな人？」の答えだ
と思います。

そして、
「佐藤義美さんって、どんな人？」の極
めつけ：

日本の童謡の最初の三羽鳥(からす)は、
北原白秋、西條八十、野口雨情とされてい
て、佐藤義美は、白秋が詩と童謡の選者を
していた『赤い鳥』から出発した感がある
ので、白秋の弟子と思われたいりますが、
義美は三人のどの弟子でもありません。

ただ、早稲田大学で、西條八十のフラン
ス語の講義をうけていた関係と、八十も
大人の詩も書き、童謡も書いていたので、
八十は義美の人間性も詩作の実力も知っ
ていたのでしょう。

八十は次第に童謡からはなれ、その才気
で仕事の幅を上げ、流行歌を作るように
なっていました。そして、八十は、義
美が大学を卒業した頃から、
「佐藤くん、流行歌を書かないか。ぼく
が知っている人のなかで、いい流行歌が
書けるのは、君だ。君ひとりだと思っ
ているんだ」
と、言い始めて、会合で会ったり、レコー
ド会社で会ったりする度に、
「流行歌を、つくらないか」
と言っようになりました。

「ぼくは、流行歌は作りません」
その都度、義美が言っても

「子どものための童謡も結構だけれど、
大人のための、流行歌も必要だよ」と
八十「それは、違います」と、義美

八十は、義美のカラッポの財布と生活
の不如意を気遣ってくれていたのかもし
れませんが、二人の「書きなさいよ」「書
きません」の問答は、ずーっと、何十年も
続きました。義美が亡くなる年まで続き
ました。

佐藤義美は、流行歌(今は歌謡曲と言っ
て)は「(こたわり)と言っようが、私は
義美のはげしい、ふかく、でも清らかな
志を、うらうちした、賢沢と言っています。
「佐藤義美さんって、どんな人だったん
ですか？」の答え
「はい。佐藤義美さんって、とびつき
り賢沢な、ぜいたくな、ゼイタクな人だ
したよ。」

穂田幸子

ひえださいこ
童話作家。佐藤義美の直弟子であり、著作権継承者。
平成9年(1997)に私費を投じて、「佐藤義美記
念館」を落成し、竹田市に寄贈した。記念館は、義
美が晩年を過ごした神奈川県逗子市の家を再現した
木造洋館造り。
現在、佐藤義美記念館名誉館長として、来館者をあ
たたかく迎えている。

竹田にゆかりのある童謡童話作家たち

昭和9年、童謡『十五夜お月さん』や『七つの子』、『赤
い靴』、『シャボン玉』などで有名な作詞家の野口雨情
は久住山から直入町湯原を訪れた。また昭和29年には、
童謡『やけ小やけ』の作詞者で、日本のアンデル
センと呼ばれた児童文学者久留島武彦が、当時の
竹田児童文化連盟の招待で竹田を訪れ、市内小学校
で童話を披露した。

そして、昭和37年には少年少女向けの優れた動物記
で有名な作家の椋鳩十も直入町長湯を訪れています。

ほくたち・わたしたちの学び舎

竹田市立 南部幼稚園

子どもたちよ、未来へ大きく羽ばたいて！

「わあでつかいおいもや」「あつちじいもや」歓声があがるおもい掘り、おもい掘りの後交流会では蒸したおもいを一緒に食べたり、肩たたきをしたりして秋の一日を楽しく過ごしました。これは地元

の君ヶ園老人クラブの方々の交流会の様子です。南部幼稚園は明るい園舎・広々とした園庭のきれいな環境の中で、本年度は5歳児の園児34名がのびのびと園生活をおくっています。

敷地内には福祉事務所管轄の施設「竹田つ子すこやか広場（午前、0歳から就学前までの子どもと親の集いの場）」、「放課後児童クラブ（午後、幼稚園児と小学生）」と共有し、朝から夕方まで一日

中子どもたちの歓声の響く場所となっています。夏、園舎裏の広いプールでの水あそびは、短い期間ですがほとんどの子どもたちが顔つけ、伏し浮きができるようになりす。また、菅生へットウモロコシ狩りに親子で出かけます。取れたての生とうもろこしの味に感動する姿がとても印象的でした。このように日頃、忙しいお家の方とも楽しいひとときを持っています。

その他、市内公立幼稚園3園で交流保育、家庭教育講演会、人形劇鑑賞、灌音楽祭出場、親子動物園見学、持久走大会、発表会などたくさんさんの体験を通して豊かな心が育つていくように援助しています。

特にそれらの中で友だちとかがわりを通して社会性、協調性を身につけてほしいと考えています。そして、この一年が子どもたちの未来へ大きく羽ばたくステップになることを願っています。

(深田佳寿子)



↑「トントン、トントン」肩たたき
地元君ヶ園老人クラブとの交流



↑広いプールで楽しいよ！



↑「コマまわし」に挑戦！
何度も練習して上手になったよ！



↑畑で取れたてを「ガブリ」
一本全部食べちゃったよ！

キリシタン博物館

63

16世紀大友宗麟はフランシスコ・ザビエルによるキリスト教布教を容認した。1551（天文20）年ころから豊後各地に広がっていったが1612（慶長17）年に徳川幕府の「伴天連門徒御禁制」によって禁教時代となり岡藩内でも黙認時代から一段と厳しいキリシタン迫害へと推移して行く。親子代々と信仰してきたキリシタンは信仰を絶対に切れず、表面的に仏教徒を装いながら隠れキリシタンとなり一族あるいは集落ごとにコンフラリア（信仰共同体）を形成しながら信仰を守ったのである。墓地

竹田市入田牧のキリシタン墓石群

では明らかにキリシタン墓と判明する墓石を取払い伏墓やトマス墓（一斗升に似た方形の墓石）に信仰を誓う隠し十字をひそかに刻んだ。

市内入田牧で昭和32年に24基の伏墓（たて40cmよこ48cm高さ18cm）が発見されたがすべて無名でありこの内13基には薬研彫でT字や井の字と丁の字を組み合わせた複雑な標である。また切妻型の真宗墓の頂部に十字と井の字を組み合わせたものが一基ある。さらに同地区桑迫にも5基のキリシタン墓石があり4基は伏墓うち2基には井の字であり牧のものと同型である。市内にはこのようなキリシタン墓地群がいくつか確認されており形状も地区ごとにそれぞれの特徴を持つ。

いずれも禁教から弾圧そして撲滅へと厳しさを増す中で教徒が深く潜伏していった歴史を物語っている。

(井上 隆)



墓石に刻まれた複雑な標

私たちの健康は私たちの手で

【組織紹介】「食生活改善推進協議会」

「私たちの健康は私たちの手で」を合言葉に、地域の健康づくりの推進役としてボランティア活動をしている組織です。学習会や研修会を通してともに学びながら楽しく活動しています。各地域に会があり、それぞれ特色をもった活動をしています。

◎しらゆり会(竹田)

昭和55年結成。会員数202名。高齢者配食サービース、ふれあい弁当作り、夏休

みにはこじか・こねこクラブのクッキング教室への協力も行っています。

◎コスモス会(荻)

昭和55年結成。会員数25名。ふるさとまつりでトマトを使った料理の普及や、学校と協力して郷土料理の伝承等を行っています。

◎みつわ会(久住)

昭和49年結成。会員数33名。健診時に、「元氣茶屋」という朝食サービースを行っています。また、高齢者へのおせちや弁当の配食サービースも行っています。

◎いでゆ会(直入)

昭和54年結成。会員数32名。植林ボランティアや、健診時の「元氣茶屋」、愛育まつりではクーニヤン井を作って参加者に提供しています。

◎全体の活動

毎年、食生活改善推進協議会主催で行っている『弁当の日』



↑「弁当の日」おかず大集合

「おかず大集合」は、会員がお弁当のおかずを持ち寄り、参加者は交流を楽しみながら、それぞれ好きなおかずを弁当箱に詰めていきます。手作りのよさを若い人に伝えるよい機会となっています。

Q. どうやったら食生活改善推進員になれるのですか？

A. ヘルスサポーター養成講座が、毎年5月から2月に開催されています。月1回の教室で、全10回の講座となっています。毎回保健師による健康講話、栄養士による栄養講話と調理実習を行っています。その修了生が食生活改善推進員となります。あなたも来年度参加しませんか？

ブロッコリーと椎茸の南蛮漬け

今月の食材：ブロッコリー

今が旬。レモンの約2倍のビタミンCを含み、皮膚や粘膜を保護するカロテンも豊富なので、かぜ予防や美肌づくりに活躍します。食物繊維も多く、便秘の予防や血糖値を正常に保つ働きも期待できます。また、葉酸やビタミンKが多いので、貧血や骨粗鬆症の予防にも効果があります。緑色の花蕾（つぼみ部分）しか食べない人もいますが、茎や葉にも栄養が多くて甘いので、ぜひ食べるようにしましょう。



今月の「食育」レシピ



【ブロッコリーと椎茸の南蛮漬け】(5人分)

ブロッコリー	1/2株
干し椎茸	小16枚
小麦粉	適宜
サラダ油	適宜
玉ねぎ	40g
人参	20g
酢	50cc
水	30cc
みりん	大さじ1
しょうゆ	大さじ2
赤唐辛子	1本

【作り方】

1. 玉ねぎは薄切りする。人参は千切りする。
2. 1をバットに入れ、合わせ酢の材料を温めて注ぎ入れる。
3. ブロッコリーは小房に分け、素揚げする。
4. 戻した干し椎茸は水気をふきとり、斜め半分に切って小麦粉をまぶして、熱した油で揚げる。
5. 熱いうちに2に漬け込む。



新たな展開に臨む御前湯 後編

11月号でお伝えした御前湯の経営方針転換。これまで控えてきた物品販売を開始し、食事提供も視野に入れた施設の行方はどうなるのか。今月号では更に踏み込んで、その戦略を提起します。

■売上減少にどう向き合うか

今時代はグローバル化の渦中にある。それを如実に物語るのが、アメリカの金融危機に端を発した世界同時不況の平成20年、その年度の御前湯の入浴者数が最低の数値を示したことも証明されます。

この流れに加え、お客様1人あたりの売上が590円から460円まで落ち込んだことも当館が方針転換せざるを得なくなった理由の1つです。

高齢者や年少者への入浴料低減制度や合併による市内料金対象者の増加など、福祉に手厚い施設として収入減は覚悟の上とはいえ、入浴者数の急激な伸びが期待できない今、入浴料以外で売上を伸ばすことが黒字経営への最短の道です。

■竹田をイメージできる物売る

10月22日、館内で物品販売を開始しました。10月の10日間で58000円、11月は16日時点で132000円。わずかながら1日あたりの売上は伸びています。まだまだ品揃えが不十分で、ニ-

ズも絞りきれいていませんが、試行錯誤にその解決を求めます。

ただし基本は竹田らしい品揃えです。竹田市経済活性化促進協議会の取り組み成果、地産地加地消の商品も取り揃え、当市のイメージを生かすことが全体への波及効果につながると信じます。

■可能性広がる食事提供

出前組合による食事提供は最盛期に比べ60%以上減少、入浴者数の20%減少に比べても、その落ち込みは深刻です。加入店舗も減少し、現在は5つのみ。メニューの固定化や券売機であるがゆえ、メニュー変更が迅速にできないなどの問題も抱えています。

出前組合との協議が整い、財政的な見通しが立てば、御前湯は直営食堂を本館に隣接する市有建物に開店する検討に乗りだしました。地元の旬の食材を使った四季折々のメニュー、入浴とのセット企画なども試されます。

もちろんそこには温泉療養を基本とした「健康」というキーワードが散りばめられています。



←入ってすぐ左側、休憩所の手前に設置された商品陳列棚



知産知消のすすめ

花水月発 竹田の観光関連情報

「知産知消」とは、知人が生産したものを、遠くの知人を介して消費の輪を広げていくことです。

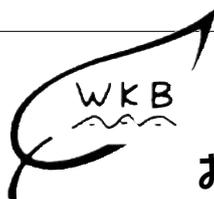
生産者！あなたが主役

お客様に愛されるお店であってほしい



戸田 恵子さん
(森屋・50歳)

栽培したおよそ8割の乾燥椎茸を道の駅に出荷しています。私自身も販売員として勤めていますので、いつまでもいいお店といわれるようにがんばり、乾燥椎茸のよさをお客様にもっともっと分かってもらえたらと思っています。



農村商社わかば

おいしさギュウギュウ！ 道の駅で牛肉販売始めました



↑試食はモウ〜大好評でした

道の駅2店では11月から地元産豊後牛を実験的に販売することになり、販売初日の20日、両店舗で販売促進を兼ねた試食会を行いました。今後は毎月第3土日に限定販売を行います。是非、お買い求めください。

●お問い合わせ 農村商社わかば ☎66-3553

【新商品紹介】地産地加地消の商品づくり



トンでもないおいしさ！ 寒い季節は やっぱりふたまん！

長湯温泉の板前さんたちが知恵を絞って作った「たかなぶたまん」が、11月から1個200円で登場しました。

これからの寒い季節、国内産や地元産にこだわった心も体もあったまるぶたまんに舌鼓をうってはいかがでしょうか。

●お問い合わせ
道の駅竹田 ☎66-3553
道の駅さごう ☎65-2211

【新商品紹介】地産地加地消の商品づくり



ちよみのいろいろ米

河野 ちよみ 竹田市福原
(薬膳料理研究会・農産加工研究会)

【いろいろ米】

雄大な久住山に見守られる美しい田園地帯、福原地区で農薬をほとんど使わず赤米や緑米、紫黒米などの古代米を含む36種類を育てています。原種から育てている珍しい雑穀もあり希少価値があります。それぞれが稲を支えあい、元気に育った雑穀は、大地がくれる命の源。いつもの御飯にひとさじ雑穀米を加えるだけで見た目鮮やかな御飯になります。

●販売場所：竹田温泉花水月、道の駅さごう、道の駅竹田、市内アンテナショップ各店

インターネットを活用した販売戦略

平成20年度から始まった雇用創造実現事業では、竹田の地域資源や地域の食材を活用して様々な旅行商品や特産品づくりをしたものを更に「売れる商品」へと後押ししてきました。「知らないところには行けない。知らないものは買えない」。こうした商品の情報発信の手段として、インターネットを活用した販売戦略に取り組んでいます。事業では商品化に携わった生産者を対象として「ブログ講習会」を開催しブログ(日記のようなもの)の立ち上げをめざしています。

生産者の想いや商品が生まれる背景など、生産者自らがその時々感じたこと



を画像とともに紹介。専門講師の熱の入った指導に参加者の皆さんも次第に本気になり、回を増す毎に技術の向上が見られます。

生産者の「熱意」を、ぜひ一度ご覧ください。

○生産者のブローガー一覧

- エノハの燻製/命水苑 足立徹信さん「てっちゃんのブログ」 <http://ameblo.jp/meisuien>
- 古代米、山野草茶/河野 ちよみ「ちよみのブログ」 <http://ameblo.jp/iroiromai>
- どぶろく、農家レストラン/後藤 清幸「サリモス日和」 <http://ameblo.jp/mr-doburoku>
- かりんとう/濱中あつ子「竹田手作りかりんとう」 <http://ameblo.jp/ayuka-sakusakukarikari>
- あじ味噌、農家民泊/村上桂子「ひらく亭おかんのブログ」 <http://ameblo.jp/hirakutei/>
- 農家レストラン/ニンナンナ 岩川満利子「ニンナンナ」 <http://ameblo.jp/ninnamama>
- 菓子工房/ホームメイドスイーツかりん 阿南公美「ホームメイドスイーツかりん」 <http://ameblo.jp/rin2175anan/>
- 竹田市経済活性化促進協議会 たけた食育ツーリズムのホームページ <http://taketa-syokuiku.org/>

食育ツーリズム 竹田市経済活性化促進協議会 ●お問い合わせ 竹田市経済活性化促進協議会 ☎62-2122
ホームページ <http://taketa-syokuiku.org/>

図書館から 12月の お知らせ

- 竹田市立図書館
TEL・FAX 63-1048
- 荻図書室(荻みらい館内)
TEL 68-2200・FAX 68-2057
- 久住図書室
TEL 76-0717・FAX 76-0724
- 直入図書室
TEL 75-2240・FAX 75-2231

12月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

※カレンダー中の白抜きの日が休館日です。

今月の新刊のご案内

- 〔一般の本〕
- ・ドラッガー365の金言 P. F. ドラッガー
 - ・優しいおとな 桐野夏生子
 - ・草木染め大全 榎直香
 - ・ピスタチオ 梨木香ま
 - ・ちゃんちゃら 朝井まかて
 - ・生き方の演習ー若者たちへー 塩野七海
 - ・西南の嵐 松井今朝子
- 〔子どもの本〕
- ・魔天使マテリアル9 藤 咲 あゆな
 - ・トリシア先生と奇跡のトビラ! 南 房 秀久
 - ・魔夜妖一先生の学校百物語 魔 夜 妖 一
 - ・うんちレストラン 新 開 孝生
 - ・1ねん1くみの1にち 川 島 敏
- ほか 50冊ほど購入しました。

おはなしルーム

日時 12月15日(水)
13:20~14:00

場所 竹田幼稚園

おはなしのへや

日時 毎週火曜日
10:30~11:00

場所 竹田市立図書館
えほんのへや

ブックスタート

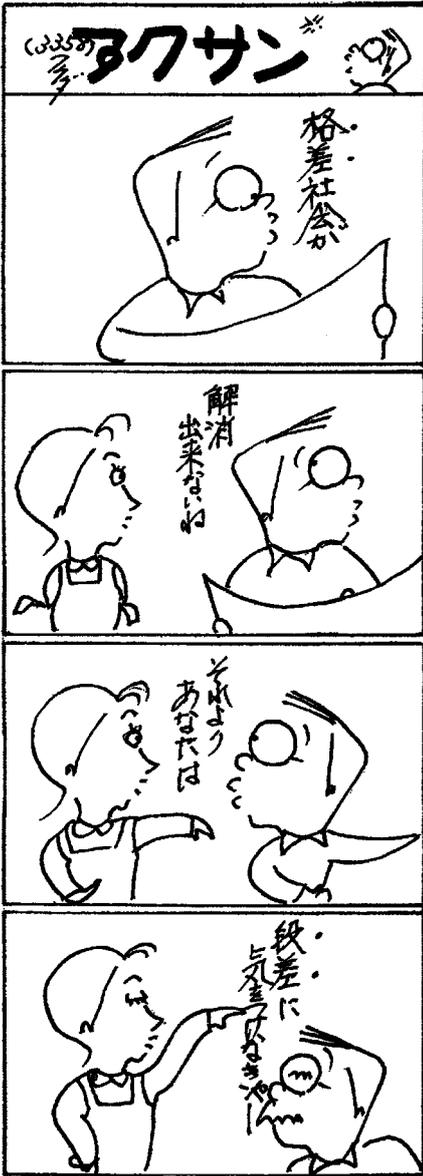
日時 12月9日(木)
14:00~

場所 竹田市総合
社会福祉センター

クリスマスキャロルのご案内

12月19日(日)13:30~15:00まで

竹田市総合社会福祉センターで
開催します。サンタさんからのプ
レゼントもあるよ!ぜひ来てね!



「司書おすすめの一冊」

「チーズと塩と豆」

角田光代他 (ホーム社)

NHK・BSハイビジョン「プレミアムS」の挿入ドラマの書き下ろし原作。井上荒野、森絵都、角田光代、江国香織の4人の作家が、それぞれヨーロッパの田舎を旅してその土地を舞台に「食と愛」の物語を描いた一冊です。

「トイレの神様」

植村花菜 (講談社)

誰もがいやがるトイレ掃除。昔はトイレをキレイにみがいっていたらかわいい子どもが生まれるって言われていたんだよ。その言い伝えにまつわる心温まるおはなしです。トイレをピカピカにしても心もピカピカになって欲しいな……

広報たけた 12 も く じ

- 第1回長湯温泉 日韓短編映画祭……………2
- 地域でともに生きる 『障害者週間』(12/3~9)……………4
- 新民生委員・児童委員が決まりました……………7
- 竹田市の財政状況をお知らせします……………8
- 第2回川端康成記念講演会
(東京スカイツリーのデザイン監修を手掛けた彫刻家・澄川喜一氏) ……12
- 稲葉ダム完成/竹田雑感⑩……………13
- 市長コラム⑩『有由有縁』……………14

【別冊 たけたん情報】 12月のこよみ、たけたん情報

- TAKETAN FACE 今月のひと(加来慶祐)ほか……………15
- まちの話題……………16
- 竹田市功労者表彰/「佐藤義美さんって、どんな人だったんですか?」(佐藤義美記念館 稗田幸子名誉館長)/ぼくたち・わたしたちの学びや(南部幼稚園)/まるごと博物館/保健だより/食育レシピ/シリーズほろにが/国際カルチャー・ポプリ/知産知消のすすめ/図書館情報/誕生おめでとう/プクサン/ふるさと風韻(吉野ゆりえ)/郷土の植物/すくすく1歳……………17~28

人口の うごき	(前月比)		(前月比)	
	人口	25,349人 (-27人)	世帯数	10,578世帯 (-4世帯)
	男性	11,789人 (-13人)	住民基本台帳登録人数	
	女性	13,560人 (-14人)	(平成22年10月31日現在)	

誕生おめでとう

10

(親・自らが)

(月生まれ)

ふるさと風韻

竹田市は、夢と理想と志を思い起こさせるまちである。

竹田市出身でご活躍の先輩方に、生まれ育ったまちの空気感に思いを馳せ、自由に筆を走らせていただいた。いま自分の人生に風を吹かせながら…



「竹田」が育んでくれた生き方

「竹田市出身」と、私は公表している。実際の生まれは大野郡三重町、今という豊後大野市だ。父が国家公務員だったため、父の転勤に合わせて、何度も県内で転校を繰り返した。小学校の3年間は南部小学校、中学校は半年間だが竹田中学校に通った。元々母方の田舎が竹田であること、兄二人が竹田高校卒業ということも、「竹田への想い」を強くしている理由であろう。

5年半前、世界中で「忘れられたがん」と呼ばれる「肉腫（サルコーマ）」に罹患し、7度の再発転移手術を乗り越えてきた。この病気は「希少がん」であるが故に、有効な抗がん剤や治療法もなく、専門医や研究者も少なく、日本には専門の拠点病院（サルコーマセンター）が存在しない。

そこで、2008年5月に拙著『いのちのダンス〜舞姫の選択〜』を出版、2時間のドキュメンタリー番組『5年後、私は生きていますか?』も全国でテレビ放映された。テレビや新聞などのメディア、講演会やブログで、肉腫に対する医療の改善を訴え続けた。昨年2月には、「日本に「サルコーマセンター」を設立する会（JSCP）」を発足した。本会の啓発活動が、国立がん研究センター中央病院内に、日本初の「肉腫（サルコーマ）診療グループ」を誕生させるきっかけになった。

今年に入り、マンガパンフレット「肉腫ってなあに？」を発行、全国のがん拠点病院へ無料配布。米国最大のがん専門病院、MDアンダーソンがんセンターのサルコーマセンターの視察と、活動は国際的な広がりを見せている。肉腫の啓発活動は、私の二つめのライフワークとなっている。

ブラインドダンスにしろ、肉腫啓発活動にしろ、「社会のために人様のために、自分は何ができるのか？」という思いから発している。その思いは自分に返ってきて、自分が存在する意味を感じることができ、「生きる力」となっている。肉腫との闘いは今もなお続いているが、この瞬間に「いのち」をいただいで活動できるのは、どれほどありがたい幸せなことだろうか。

今私は思う。肉腫に罹患したことも含めて、今ある自分は神様からの「贈り物」だと。そして、そんな私の考えを育んでくれたのは、多感な時期に過ごした「竹田」の日本有数のきれいな山や川だった。神様、そして私のふるさと「竹田」に、心から感謝している。

「ミス日本」にも輝いた。大学卒業後は、ダンスの本場イギリスに10年間留学し、国際的トップダンサーとして活躍した。現役引退後の現在も、審査員やコーチャーとして活躍、テレビへの出演や芸能人への指導もしている。世界に先駆けて始めた「ブラインドダンス」（視覚障がい者のためのダンス）は、私のラ

今年に入り、マンガパンフ



よしの 吉野 ゆりえ

略歴

1968年大分県生まれ。竹田市立南部小学校、竹田中学校在籍。大分雄城台高校卒業。筑波大学国際関係学類卒業。大学在学中に「ミス日本」を獲得。卒業後イギリスへ10年間留学し、国際的なトップダンサーとして活躍。2005年「後腹膜平滑筋肉腫」と判明、以後5年間で7度の手術を克服する。現在、世界ダンス議会国際審査員、日本ブラインドダンス協会理事、日本に「サルコーマセンターを設立する会（JSCP）」代表。
ブログ <http://ameblo.jp/yurieyoshino/>
HP <http://www.japan-scp.net>



↑華麗なダンスアクションを魅せる吉野さん

※「いのちのダンス〜舞姫の選択〜」（吉野ゆりえ・著／河出書房新社）絶賛発売中

題字・草刈樵峰 絵・大嶋英子



郷土の植物

(262)

阿孫 久見

第69回

シロダモ (クスノキ科)

山地の林縁や林内に生育する高さ15メートルほどになる雌雄異株の常緑高木です。

枝先に集まってつく全縁の互生の葉は革質で長楕円形です。長さは13センチ、幅が4・5センチほどです。縁は黄色い線でふち取られ、波を打ち裏面は粉白色です。

晩秋の頃、葉腋に淡黄色の径8ミリほどの無柄の4花弁(写真が雄花)を集めて咲かせます。よく見ると花の外側にはびっしり淡褐色の毛があら

ります。

秋から冬にかけて真っ赤になる径12センチほどの果実は花の翌年につけるので、開花期には花と実が同時に見られます。実はヒヨドリがよく食べます。葉裏が白く、タモはタブノキなどこの仲間の総称からきてるというわけ、この名があら

ります。竹田では人家近くの里山から祖母山系の中腹まで広く分布していて観察されます。花期は11月です。

おすく
1歳



平成21年12月生まれ 誕生日 親 (自治会)



「冬 室」

今しがたすれ違った人の足跡が見えない。雪は音も無く、時を消す。
撮影・デザイン/竹蔵 TAKEGURA



アップル!
堀 ミツさん
100歳

11月1日に堀ミツさん(瀬の口)がめでたく満100歳を迎えました。長年実家の宿を経営。食事は何でも好き嫌いなく食べるそうで、これが『長生きの秘訣』なのでしょう。堀さん、いつまでもお元気で。

平成23年1月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します!

☎秘書広報係
☎63-1043



本 庁 ☎0974-63-1111
 荻 支 所 ☎0974-68-2211
 久住支所 ☎0974-76-1111
 直入支所 ☎0974-75-2211

たけたん

情報

2010 12

第6回歳末助け合いチャリティーショー

と き 12月4日(土)午前の部 10:00開演(9:00開場)
 午後の部 15:00開演(14:00開場)
 と ころ 竹田市文化会館大ホール
 ※各自治会・各種団体・福祉団体で協力券(1枚500円)を販売しています。入場の際は必ず協力券をお持ちください(当日券も用意しています)。
 ●お問い合わせ 竹田市社会福祉協議会 ☎63-1544
 竹田市福祉事務所 ☎63-4811

中九州3大学小児医療市民公開セミナー & 竹田市立こども診療所1周年記念式典

～地域社会の基盤としての小児医療、小児保健の役割～
 と き 12月12日(日) 13:00～16:00 (12:30開場)
 と ころ 竹田市総合社会福祉センター
 内 容
 【第1部】市民公開フォーラム

- コーディネーター
大分大学医学部小児科教授 泉 達郎
- パネリスト
 竹田市立こども診療所 高野 智幸
 大分大学医学部地域医療・小児科分野 是松 聖悟
 宮崎大学医学部小児科学 今村 秀明
 熊本大学医学部新生児学寄付講座教授 三瀬 浩
 竹田市(民)代表
 (敬称略)

【第2部】竹田市立こども診療所開設1周年記念式典
 ・基調講話(大分大学医学部小児科教授泉達郎先生)
 ・子育て一番宣言(仮称) 竹田市 首藤市長
 ・アトラクション(しらゆり幼稚園ちびっこ太鼓、竹田しゃんしゃん音頭)
 ・健康チェック(血管年齢・乳がん自己検診等)
 健康パネル展示、お楽しみ抽選会ほか
 入場料 無 料
 主 催 竹田市、大分大学小児科学講座、
 中九州三大学病院合同専門医養成プログラム
 ●お問い合わせ 竹田市健康増進課 ☎63-4810

第22回クリスマス音楽の夕べ

団体の合唱や器楽の演奏を聞いたり、みんなで楽しく歌を歌ったりします。手づくりの料理とワインを準備します。
 と き 12月18日(土) 18:30～21:00
 と ころ 竹田商工会議所2階ホール
 会 費 大人700円 子ども500円
 ●お問い合わせ 瀧廉太郎会事務局 ☎63-1823 (堀)

2011年荻地域新春歩こう会

と き 1月1日(土) 5:30受付 6:00開会
 と ころ 荻公民館スタート～
 荻町馬背野 高鼻公園ゴール
 参加料 小学生以上 100円(参加者全員に参加賞有り)
 ●お問い合わせ 荻中央公民館 ☎68-2025

歴史資料館

☎63-1923

〔開館時間〕9:00～17:00
 〔休館日〕月曜日。祝日の翌日
 (月曜日が祝日の場合は開館)
 ○常設展 文人画家たちが描いた季節(秋～冬)
 11月19日(金)～12月28日(火) 2階展示室B
 田能村竹田、帆足杏雨、田能村直入などの秋から冬にかけての情景を描いた作品を展示します。

市民ギャラリー水琴館

☎63-2200

〔開館時間〕9:00～17:00
 〔休館日〕月曜日。祝日の翌日
 (月曜日が祝日の場合は開館)
 ○竹蔵写真「美」展
 11月23日(祝・火)午後～12月5日(日)午前
 「美」をテーマにした竹蔵のメンバーによる写真展。
 加えて白杵市在住のフォトグラファー・Gentax51氏が
 フィーチャリング。約50点を展示
 (竹蔵 ☎090-7535-4352)
 ○盆栽展
 12月8日(水)午後～12日(日)
 松、実ものなどを20点展示。
 (桑島明生 ☎63-2579)
 ○弘永きぬえ展
 12月15日(水)～28日(火)
 (水琴館 ☎63-2200)
 ※なお、展示内容の詳細を知りたい方は、申込者へ直接
 お電話下さい。

2011年新春カラオケフェスタ 出場申込書

フリガナ	
氏 名	
住 所	(〒 -)
電 話	-
フリガナ	
曲 目	
フリガナ	
歌手名	

※この出場申込み時に提出頂いた情報は、本大会の運営以外には使用いたしません。

年金

20歳になったら国民年金

日本に住んでいる20歳以上60歳未満のすべての方は、国民年金に加入して保険料を納めることとなります。自営業者・学生・フリーターの方などが20歳になったときは、住所地の市町村役場へ国民年金加入の手続きが必要です。

また、厚生年金保険や共済組合の加入者（第2号被保険者）に扶養されている配偶者の方が20歳になったときは、第2号被保険者の勤務先を経由して加入の手続きを行うこととなります。

なお、第2号被保険者が20歳になったときは、加入の手続きは必要ありません。国民年金の加入手続きをきちんとし、保険料を納めましょう。

●お問い合わせ 日本年金機構大分年金事務所
☎097-552-1211

募集

竹田のカラオケファン全員集合！

2011年新春カラオケフェスタ出場者募集！

新年の恒例行事！『新春カラオケフェスタ』を開催されます。ポップス、ロック、演歌、童謡など、何でも結構です。みなさんの出場をお待ちしています。

とき 平成23年1月30日(日) 10:00～

ところ 竹田市文化会館大ホール

◇出場枠及び資格

- ・竹田市文化連盟歌謡部14団体代表者と推薦2名及び個人申込み枠32名の計60名です。（ただし、歌謡部代表者の出演は任意の出場とします）また、個人申込み枠は先着順とし、定員になり次第締め切りとさせていただきます。予めご了承ください。
- ・竹田市内に在住する方で、年齢性別は問いません。
- ・昼食は各自でご用意ください。

◇参加賞

審査・表彰等はいりません。出場者には参加賞を差し上げます。

◇申込み方法

個人申込み枠で出場を希望する方は、下記の申込み用紙にご記入のうえ、竹田市文化会館（竹田市中央公民館）に提出してください。

受付期間は2010年（平成22年）12月8日(水)から22日(水)まで。

主催／竹田市文化連盟歌謡部 後援／竹田市教育委員会

●お問い合わせ 竹田市文化連盟事務局(竹田市文化会館)
☎63-2734

キ-リ-ト-リ-セ-ン

2011年新春カラオケフェスタ



出場申込書

竹田市文化連盟歌謡部

キ
リ
ト
リ
セ
ン

古文書実践講座受講生募集

大分県立先哲史料館の協力で、古文書の基礎と扱い方、解説の基礎や整理の方法を学ぶ「古文書実践講座」を開講します。地域や家に伝えられた史料（古文書など）や地域の歴史に関心を持ち、取り扱いを学びたい市民の皆さまのご参加をお待ちしています。

◇募集要項

会 場 市民ギャラリー水琴館会議室

人 数 20名（先着順・受講料無料）

内 容 ・第2回 12月4日(土)13:30～16:50

講義「古文書の解説の基礎②」ほか

・第3回 12月11日(土)13:30～16:50

講義「古文書の解説の基礎③」ほか

・第4回 12月18日(土)13:30～16:50

講義「古文書の解説の基礎④」ほか

●お問い合わせ 竹田市立歴史資料館 ☎63-1923

学校給食共同調理場の給食物資納入業者募集

竹田中央学校給食共同調理場及び久住、直入学校給食共同調理場では、平成23年度学校給食用物資納入業者（野菜・果物・農産物加工品・精肉・地場産物等）の募集をします。

納入希望者は、指名願いを各調理場に提出してください。用紙は下記の各学校給食共同調理場に指定のものを備えてあります。

*給食物資の納入には、一定の基準規格（納入時間、市内産・国内産、生産地記載）等がありますので、各調理場へお問い合わせください。

●受付期限 平成23年1月14日(金)～1月28日(金)

●お問い合わせ・提出先

竹田中央学校給食共同調理場 ☎63-1170

久住学校給食共同調理場 ☎76-1157

直入学校給食共同調理場 ☎75-2270

阿蘇インターネット通訳サービス無料モニター施設募集

（助阿蘇地域振興デザインセンターでは、阿蘇竹田地域を訪れる外国人旅行者を対象とした、英語・韓国語・中国語の通訳サービスを設置いただく施設を募集しています。（期間：12月15日～3月末日）

モニター利用期間中の利用料は無料です。また、サービスの利用に必要な機器の一部貸与もあります。お気軽に下記までお問い合わせください。

お問い合わせは（助阿蘇地域振興デザインセンター通訳システム事務局〔担当〕石松、鈴木 ☎0967-22-4801

通訳ボランティア募集

（助阿蘇地域振興デザインセンターでは、阿蘇竹田地域を訪れる外国人旅行者を対象とした、英語・韓国語・中国語の通訳サービスにご協力いただける方を募集しています。



インターネットテレビ電話を使った通訳サービスですので、ご自宅でご都合のよい曜日・時間にご協力いただけます。

資格等の要件はありませんが、ご登録に際し簡単なスキルチェックを実施させていただきます。

デモ体験を随時受付中です。少しでもご関心をお持ちの方は、お気軽に下記までお問い合わせください。

お問い合わせは（助阿蘇地域振興デザインセンター通訳システム事務局〔担当〕石松、鈴木 ☎0967-22-4801

催し

五感でめぐる旅（現地ガイド付き）石と水の文化コース

日時 12月6日(月)

場所 竹田市文化会館前広場 9:00集合

コース 白水ダム、円形分水、白水の滝、岩戸橋ほか

参加費 500円（昼食代別途）

申込締切 12月5日まで

●お問い合わせ 観光ボランティアガイド委員会 ☎63-2638

第34回竹田元旦マラソン大会

日時 1月1日(土) 開会式10:00～

受付 9:00～10:00 スタート10:30

場所 竹田市総合運動公園陸上競技場

種目 ・小学5、6年生男女2km・中学生男女・高校生男女・一般男子（40歳未満、40歳代、50歳代、60歳以上）・一般女子5km

申込締切 12月17日(金) 17:00まで

●お問い合わせ 竹田市陸上競技協会事務局
☎090-4588-4963（佐藤）

竹田市成人式開催します

日時 平成23年1月9日(日)午後1時

場所 竹田市文化会館大ホール

対象者 平成2年4月2日～平成3年4月1日までに生まれた人で、市内在住及び市内中学校を卒業し、学業や就職等で市外に在住されている人。対象者には個別に案内を送付しましたが、まだ届いていない方は、ご連絡ください。

●お問い合わせ 竹田市生涯学習課 ☎63-4817

環境衛生

☆竹田市地球温暖化防止推進協議会からのお知らせ

ストップ！地球温暖化 今日から出来る小さな一歩



今わたしたちのまわりに温暖化の影響が表れ始めています。異常気象や日照・集中豪雨・海面水位上昇・農作物への被害などです。CO₂の削減に向けて、小さなことから始めましょう。

協議会では、年間を通じて、活動をしています。今年の竹葉にも廃油キャンドルで参加しました。（場所は市役所玄関シャトルバス乗り場）

また、チャリティーバザー会場にてエコうちわを300枚無料配布し、市民の皆さんにCO₂削減をお願いしました。

うちわの無料配布（7/30）→



そのほかにも『マイはし・マイバック運動』（10月竹田市のマイバック持参率は、86.3%）、『夏休み親子で作る廃油キャンドル教室』、『緑のカーテン事業』などの活動に取り組みました。

●お問い合わせ 竹田市環境衛生課 ☎63-4821

ごみの減量化にご協力ください！

地球温暖化防止を推進するために買い物をする時は、マイバックを利用しレジ袋の減量化・生ごみの減量化及び資源化に取り組んでいます。

生ごみの水切りをするだけでごみの量は減り、燃やしやすくなりごみ焼却時に出るCO₂が削減されます。ごみ減量化・資源化推進のため家庭用生ごみ処理機の補助金制度があります。環境衛生課に申請書を出してから購

入してください。購入費用の1/2以内で最高補助金額が2万円です。

●お問い合わせ 竹田市環境衛生課 ☎63-4821

年末年始のごみ収集について

12月29日(水)から1月3日(月)までの年末年始は、ごみ収集をいたしませんので清掃センターへのごみの持込みは12月28日(火)の午前中までです。

清掃センター解体工事のため工事車両やごみ収集車で混雑しますので家庭から出るごみは定期収集をご利用ください。ごみの分別が正しくないと警告シールを張り収集しませんので正しく分別してください。

一時的多量ごみを持込場合は持込む前に清掃センターへ事前に電話連絡をお願いします。

●お問い合わせ 清掃センター ☎68-2819

し尿汲み取りについて

し尿汲み取りの申し込みは、年末に集中しますので、12月21日(火)までに(有)竹田衛生社（☎63-3546）へお申込みください。

月間・週間

平成22年 おおいた年末・年始の事故ゼロ運動

1. 期間 平成22年12月15日(水)から

平成23年1月4日(火)までの21日間

2. 運転の重点

①前方注視・安全速度・安全確認の徹底

②飲酒運転の根絶 ③早目のヘッドライト点灯と反射材着用の徹底

3. 一斉街頭啓発日 平成22年12月15日(水)・24日(金)

●お問い合わせ 竹田市総務課 ☎63-4800

【大分県警察よりおしらせ】

オウム真理教犯罪被害者等給付金の申請が迫っています。

申請期間 平成22年12月17日まで

・地下鉄サリン事件、松本サリン事件その他法律で定められた事件により『亡くなられた方のご遺族』『障害が残った方（既に亡くなられている場合はそのご遺族）』『傷病を負った方（既に亡くなられている場合はそのご遺族）』が給付金の対象です。

詳細は、大分県警察本部警務部広報課被害者支援室

☎097-536-2131（9:15～18:00）まで

幼稚園

平成23年度市立幼稚園の入園願書受付開始

竹田市立竹田幼稚園、南部幼稚園、直入幼稚園の3園では、平成23年度の入園願書の受付を始めます。

竹田地域・直入地域で該当する子どもの保護者の方には、入園願書を郵送します。

12月中旬に届かない場合は、幼稚園または学校教育課までご連絡ください。

※小学校区外、市外でも入園できます。

◇対象となる子ども

・竹田幼稚園・南部幼稚園

平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれ（5歳児）

・直入幼稚園

平成17年4月2日～平成19年4月1日生まれ（4・5歳児）

●お問い合わせ

竹田市教育委員会学校教育課 ☎63-4833

竹田幼稚園 ☎63-1081・南部幼稚園 ☎63-1084

直入幼稚園 ☎75-2230

竹田市のごよみ 12月 2010年

1(水)	いのちの日・世界エイズデー・常設展『文人画家たちが描いた季節(秋～冬)』9:00-17:00(竹田市歴史資料館2階展示室B) 11/19(金)～12/28(火)・『竹蔵写真「美」展』9:00-17:00(市民ギヤラリー水琴館) 11/23(金)午後～12/5(日)午前・民生委員・児童委員委嘱状伝達式11:00～(市役所本庁舎3階)・5歳児健康診査 13:00-15:00(竹田市総合社会福祉センター)・陽目の里「名水茶屋」休業日
2(木)	・竹田温泉「花水月」休館日
3(金)	・第12回竹田市農業委員会総会 14:00～
4(土)	・第6回蔵末助け合いチャリティショー 10:00開演(9:00開場) / 15:00開演(14:00開場) (竹田市文化会館)・第37回少年少女駅伝ロードレース大会 9:00-12:00(9:00開会式 9:40スタート予定) (竹田市総合運動公園陸上競技場周回コース)
5(日)	・第23回大分県郡市対抗女子駅伝競走大会10:00-15:00 [10:00開会式 12:00スタート] (大分市菅陸上競技場)
6(月)	・五感でめぐる旅 石と水の文化コース 9:00竹田市文化会館前広場集合(朝)ボランティアガイド委員会 ☎63-2638(竹田観光案内所)・人権なんでも相談所10:00-15:00(竹田市総合社会福祉センター・荻福祉健康エリア)・久住支所・こころの健康相談13:30-15:30(荻福祉健康エリア)・要予約・荻の里温泉休館日
7(火)	・竹田市「赤十字ふれあい講座」10:00-12:00(竹田市総合社会福祉センター多目的ホール) ・おはなしのへや10:30-11:00(竹田市立図書館えほんのへや)
8(水)	・『盆裁展』9:00-17:00(市民ギヤラリー水琴館) 12/8(火)午後～12/12(日)・3・6・12か月児健康診査 13:00-15:00(竹田市総合社会福祉センター) ・荻地域人権講演&コンサート(講師)「う〜み」さん(シンガソングライター) 18:30-20:00(荻福祉健康エリア)・国民宿舎「直入荘」休館日・陽目の里「名水茶屋」休業日
9(木)	・ブックスタート14:00-15:00(竹田市総合社会福祉センター)・高齢者大学竹田学級14:00-15:30(竹田市文化会館) ・竹田温泉「花水月」休館日
10(金)	・おも城サイトミュージアム13:00～(岡城跡駐車場)※要予約(岡)竹田市教育委員会文化財課 ☎0974-63-4818 ・人権の花運動風船イベント 10:30-11:15(白丹小学校) ・直入地域人権講演会 18:30～(直入)地域人権啓発推進協議会主催・直入公民館ホール) ・豊肥子牛市場 9:00-12:00・竹田保育所発表会9:00-12:00(竹田保育所ホール)・荻保育所発表会9:00-12:00(荻保育所ホール)・童謡と絵本の会10:00-11:30(佐藤義美記念館(このこのおうち))・ブルーフェニックスジャズオーケストラコンサート18:00-20:00(竹田市文化会館大ホール)
11(土)	・竹田市子ども診療所1周年記念式典&中九州3大学小児医療市民公開セミナー 13:00-16:00 (竹田市総合福祉センター)・豊肥子牛市場 9:00-12:00
12(日)	・荻の里温泉休館日
13(月)	・おはなしのへや10:30-11:00(竹田市立図書館えほんのへや) ・こころの健康相談 13:30-15:30(竹田古町会場)：要予約
14(火)	・『弘きぬえ展』9:00-17:00(市民ギヤラリー水琴館) 12/15(金)～28(火)・行政相談 10:00-12:00(竹田市総合社会福祉センター、直入支所)・年金相談10:00-15:00(竹田市高齢者いきいき交流センター)◎日本年金機構大分年金事務所 ☎097-552-1211・1歳6か月児健康診査 13:00-15:00(竹田市総合社会福祉センター)・大分県行政書士会無料相談会13:00-16:00(大分県行政書士会(大分市))・おはなしルーム13:20-14:00(竹田幼稚園)・こころの健康相談13:30-15:30(直入保健福祉センター)：要予約・温泉療養文化館「御前湯」休館日・陽目の里「名水茶屋」休業日
15(水)	・10:00-12:00 行政相談(荻支所)・竹田童謡作詩コンクール『佐藤義美賞』表彰式16:00～(佐藤義美記念館)
16(木)	・よしみ忌・竹田温泉「花水月」休館日

日	時	場	所
12月6日(月)		竹田市総合社会福祉センター	
12月7日(火)		竹田市総合社会福祉センター	
12月13日(月)		荻福祉健康エリア	
12月14日(火)		荻福祉健康エリア	
12月15日(水)		竹田市総合社会福祉センター	

※受付時間は、8:00～10:00
○お問い合わせ 竹田市健康増進課 ☎63-4810

※行政相談に関するお問い合わせは、行政相談委員まで(小河晴義 ☎62-3662、太田正一 ☎68-2480、渡辺善照 ☎77-2067、芥藤義昭 ☎75-2692)

17(金)	・いなりの日 ・ジョブカフェおおいた10:00-16:00 (市役所本庁3階) ・国際Cinema in Taketa 19:00~22:00 (竹田市総合社会福祉センター)
18(土)	・瀧廉太郎会主催「クリスマス夕べ」18:30~ (竹田商工会議所2階ホール)
19(日)	・「第3回雪つかりニバル in 久住 ~子どもから高齢者までみんな集って久住の輪~」9:00-13:00 (久住公民館) ・第13回クリスマス・キャロル 13:00-15:00 (竹田市総合社会福祉センター) ・家族の日
20(月)	・荻の里温泉休館日
21(火)	・おはなしのへや10:30-11:00 (竹田市立図書館えほんのへや)
22(水)	・こころの健康相談13:30-15:30 (久住保健センター)：要予約 ・精神保健相談14:00~16:00 (大分県豊肥振興局内保健所出張サービス会場) ※要予約 @豊肥保健所 ☎0974-22-0162 ・第22回クリスマス音楽の夕べ18:30-21:00 (竹田商工会議所2階ホール) ・陽目の里「名水茶屋」休業日
23(木)	・天皇誕生日 ・クリスマスマーケット IN 花水月 13:00~ (竹田温泉 花水月)
24(金)	・おち城サイトミュージアム 13:00~ (岡城跡駐車場) ※要予約 @竹田市教育委員会文化財課☎0974-63-4818 ・クリスマスミニコンサート 14:00-15:00 (瀧廉太郎記念館蔵) ・竹田温泉「花水月」振替休館日
25(土)	・童謡と絵本の会10:00-11:30 (佐藤義美記念館「このこのあうち」)
26(日)	・T A O ふるさと凱旋公演2010 (15:00開場 / 15:30開演) (竹田市文化会館大ホール)
27(月)	・ふるさと凱旋公演スパニヤル・和太鼓TAO交流ワークショップ10:00-13:00 (竹田市文化会館) ・荻の里温泉休館日【納期限】市県民税4期、国民健康保険税6期、介護保険料、後期高齢者医療保険料6期
28(火)	・仕事納め・【献血】10:00-16:00 (竹田市総合社会福祉センター) ・おはなしのへや10:30-11:00 (竹田市立図書館えほんのへや) ・こころの健康相談13:30-15:30 (竹田市総合社会福祉センター)：要予約 ・荻の里温泉休館日
29(水)	・陽目の里「名水茶屋」休業日(※冬期間中のため、来月より休業します) ・荻の里温泉休館日
30(木)	
31(金)	
月間	・平成22年おいた年末・年始事故ゼロ運動 12/15~1/4 ・統計調査票提出促進週間 10/1~12/28 ・第2回久住高原光ファンタジア17:30-21:00 11/13~12/26 ・2011年荻地域新春歩こう会 5:30受付(荻公民館~高鼻公園) 1/1(元旦) ・新春互礼会12:00~ 1/4 ・竹田市成人式13:00~ (竹田市文化会館) 1/9
その他	

竹田温泉「花水月」
12/25~1/5まで休まず営業します。

地上デジタル放送受信相談会を開催します

地上デジタル放送をご覧頂く方法、必要な準備などについての具体的な質問、ご相談を承ります。事前のお申込は不要です。

- 日時・会場
12月17日(金) 荻支所1会議室
12月20日(月) 竹田市役所本庁1階ロビー
12月22日(水) 久住支所1階市民ホール
12月24日(金) 直入支所1階市民ホール
午前10時~午後4時
 - お問い合わせ
総務省大分県テレビ受信者支援センター
相談会グループ ☎097-548-6010
受信相談窓口 ☎097-515-8300
- ※番号をよくお確かめの上おかけ下さい。

T A O ふるさと凱旋公演

竹田でしか観られない 年納め「ふるさと」公演!

【会場】 竹田市文化会館大ホール
【公演】 2010年12月26日(日)
午後3:00開場 / 午後3:30開演
【交流ワークショップ】
12月27日(月) 午前10:00~午後1:00
■指定席 4,000円
■自由席 3,500円 (高校生以下2,000円)
※ワークショップの観覧は無料です。
(受講生の受付は終了しました)
【チケット窓口】 ほていの湯 ☎77-2680
●お問い合わせ ☎080-2716-1890 (午後5時~9時)
E-mail: tao-taketa@docomo.ne.jp
主催 / TAO竹田公演実行委員会
後援 / 竹田市・竹田市教育委員会ほか



農業委員会事務局農地係からのお知らせ

農地に係る各種申請受付の締め切りは、毎月20日です。ご協力をお願いします。

●お問い合わせ 農業委員会事務局 ☎63-4815

国民健康保険

交通事故に遭った時は届出を

交通事故や傷害事件など、第三者（加害者）の行為によりけがをした場合で、保険証を使って治療を受けようとするときは、竹田市保険課または各支所いきいき市民課に届け出をしてください。
(届け出に必要なもの)

①保険証 ②印かん ③事故証明書(交通事故の場合)
※国保に届け出る前に、加害者から治療費を受け取ったり示談を済ませたりすると、国保が使えなくなることがあります。

●お問い合わせ 竹田市保険課 国保・高齢者医療係
☎63-1111 (内線135・136・137)

税 務

固定資産税の申告・届出について

固定資産税は、毎年1月1日の時点で土地・家屋・償却資産を所有している方（土地・家屋は、登記簿上の所有者）にかかります。土地・家屋を年の途中で売買した場合でも、その年の12月末までに所有権移転の登記手続がなされない場合は、翌年度に前所有者の方に税金がかかります。その他、登記手続についてもお忘れなくお願いします。

1. 住宅用地の異動申告

現在、住宅が建っている土地（住宅用地）については、固定資産税が軽減されています。

住宅の取り壊し等で、住宅用地でなくなった場合や新たに住宅用地になった場合等、住宅用地に異動があった時は、申告をすることが法律・条例で義務づけられています。申告期限は平成23年1月31日(月)までとなっていますので、必ず申告をお願いします。

申告内容は、所有者（住所・氏名）・住宅用地（所在・地積）・家屋（所在・所有者・床面積等）となっています。

2. 土地・家屋の異動届

土地の地目を変更した場合、又は家屋を新增築・取り壊した場合はお知らせください。（法務局にて登記をされた方は連絡する必要はありません）

3. 償却資産の申告

償却資産「土地・家屋・車両（自動車税・軽自動車税が課税されるもの以外※1）の事業（農・工・商業等）の用に使用している資産で、その償却費が所得税法又は法人税法で経費や損金に算入されるもの」の所有者は、毎年1月1日現在所有している償却資産について、その名称・数量・取得年月・取得価額・耐用年数等を申告することが法律で義務づけられています※2

前年度に申告された方は12月中旬に申告書をお送りする予定です。新規に事業を始めて償却資産がある方は申告が必要になりますのでご連絡ください。

償却資産の所有者は、申告期限が平成23年1月31日(月)までとなっていますので、必ず申告書を提出してください。

※1 道路運送車両法上の大型特殊自動車は、陸運局への登録の有無にかかわらず償却資産に該当します。

※2 申告書受理後、地方税法にもとづいて実地調査・簡易調査（固定資産台帳を郵送していただく調査）を行うことがありますので、ご協力をお願いします。

●お問い合わせ 竹田市税務課資産係
☎63-1111 (内線123・124・128)

農 業

農業用廃プラスチック回収について

使用済みのビニールやマルチなどの農業用廃プラスチック類は、産業廃棄物に位置づけられており、法律で適正な処理が義務づけられています。竹田市とJA大分みどり地域本部は連携して、農業用廃プラスチックの回収を下記のとおり実施します。

回収場所へ運搬する場合は、「運搬車両の表示」及び「書面の備え付け（携帯）」が法律で義務づけられています。備え付け書類など無い場合は、下記の連絡先まで問い合わせください。

また、回収当日は、印鑑が必要になります。

回収する農業用廃プラスチック類はハウスの農業用ビニール、農業用のマルチ資材、ラップサイレージ肥料袋（ビニール）、育苗用ポット、農薬のプラスチック製空容器など

回収日程

『農ビニール』と『農ポリ』に分類して持ち込んでください。

地 域	日 時	場 所
荻 地 域 対 象	12月13日(月) 9:00～15:00	竹田市荻堆肥センター (荻町高緑木)
久住地域 対 象	12月14日(火) 9:00～15:00	JA大分みどり地域本部 久住選果場前広場（久住町牧の元）
竹田地域 対 象	12月15日(水) 9:00～15:00	JA大分みどり地域本部 竹田中央倉庫前広場（飛田川）

※告知放送で後日またご連絡します。

処理経費はどのくらい？

平成22年度は、市とJA大分みどりが処理に係る費用を半額助成していますので、農家負担は1kgあたり3.5円です。廃プラ回収場所にて徴収します。

不明な点については、下記に問い合わせください。

JA大分みどり地域本部営農部園芸課 ☎63-1224

竹田市農政課 ☎63-4805 荻支所産業建設課 ☎68-2211

久住支所産業建設課 ☎76-1116

平成22年度竹田市パソコン農業簿記研修会開催

目 的 今回はパソコン農業簿記初心者の方々を対象に研修を行い、よりよい農業経営環境を築かれることを目的とし開催致します。

主 催 竹田地域担い手育成総合支援協議会

日 時 平成22年12月14日(火) 18:30～21:00

場 所 いきいき交流センター
(竹田市総合社会福祉センターの裏)

対象者 ・パソコン農業簿記の導入を考えている方
・パソコン農業簿記初心者の方
・パソコン農業簿記を行っていて不安を感じている方

内 容 ・パソコン農業簿記の基本・仕組みについて、質疑応答

〔講師〕ソリマチ株式会社より派遣（農業簿記8の説明含む）

その他 毎年行っていたパソコン農業簿記（初級・中級）研修会は今年度は開催されません。そのため、既にパソコン農業簿記を行っていて疑問・質問がある方も併せて参加してください。（なお参加希望者多数の場合は先着順とします）

申込期限 平成22年12月7日(火)

連絡先 竹田市農政課（担当:磯野） ☎63-4805

荻支所産業建設課（担当:井上） ☎68-2215

久住支所産業建設課（担当:足達） ☎76-1116

直入支所産業建設課（担当:久米） ☎75-2215

縦 覧

都市計画変更の案の縦覧について

次の都市計画について、変更の案を縦覧します。なお、この計画案に対して意見のある方は、縦覧期間満了の日までに、大分県に対して意見書を提出することができます。

◆都市計画変更の案の種類【大分県決定】

- ・竹田都市計画区域マスタープラン
- ・竹田都市計画公園 竹田市総合運動公園（一部区域変更）

◆案縦覧

縦覧期間：平成22年12月13日(月)～27日(月)
8:30～17:00（平日のみ）

縦覧場所：大分県都市計画課、竹田市建設課

●お問い合わせ 大分県土木建築部 都市計画課 都市計画班

☎097-506-4659 E-mail:a17500@pref.oita.lg.jp

ホームページ：http://www.oita-mp.com

助 成

子ども医療費助成事業における「高額療養費限度額適用認定証」制度の利用について

～入院に係る窓口負担の軽減となります～

入院をする際、その認定証を窓口に表示することにより、1か月ごとの医療費（保険適用分）が高額になった場合でも、支払う金額が世帯ごとの自己負担限度額までとなります。

また、住民税非課税世帯の方は、食事代もあわせて減額となります。

子ども医療費については、自己負担限度額までの助成をしますので、子ども医療費受給資格者証とあわせて提示すれば、医療費（保険適用分）についての窓口負担はありません。

（認定証の手続きはそれぞれの保険窓口をお願いします。）

●お問い合わせ 竹田市健康増進課 ☎63-1111 内線171

宝くじ助成金

久住町で地域文化を継承している「久住高原くたみ太鼓」。

太鼓の数の不足に加え、長年使っていた太鼓の老朽化も進んでいました。

今年度の財団法人自治総合センターの宝くじの助成金で、1尺4寸の太鼓4台、3尺の大太鼓1台が、太鼓台等も含め新調されました。

新しい太鼓の披露に向けて、活発な練習が行われています。



求 人 ハローワーク豊後大野竹田職業相談室 ☎63-1101

- ①サービススタッフ1人15～26万（18歳以上）②農作業員1人14万 ③製造販売員（パン）1人12.8万 ④ゆうパック配達員10人12.9万 ⑤社会福祉士または社会福祉主事1人15～18万 ⑥事務員1人14.7万 ⑦木材伐採作業員1人25万 ⑧宅地建物取引主任者1人20～30万 ⑨測量士・測量士補1人20～33万 ⑩生活支援員2人12万 ⑪ガソリンスタンド販売員1人15～20万 ⑫飼育係（久住正社員）1人16.2～25万（40歳以下）〔パート求人（時給）〕
- ⑬清掃員1人728円 ⑭タクシー乗務員2人643～700円 ⑮販売員1人650～700円 ⑯商品補充担当者1人700円 ⑰新聞配達員8人800～1,000円 ⑱食品製造（モヤシ）1人650～700円 ⑲調理員（久住荘）1人650～700円 ⑳歯科助手1人680円 ㉑ホームヘルパー1人900～1,300円 ㉒袋詰作業員1人643円 ㉓ホール係員1人1,000～1,300円 ㉔送迎運転手2人700円

雇用保険の適用範囲が拡大されました

平成22年4月1日から雇用保険の適用範囲が以下のとおり拡大されました。

○31日以上雇用見込みがあること

（※従来は6か月以上の雇用見込みが必要でした）

○1週間の所定労働時間が20時間以上あること

これらの要件をいずれも満たす場合は、雇用保険に加入する必要があります。加入要件に該当する労働者を雇い入れた事業主は、ハローワークに対し採用日の翌月10日まで「雇用保険被保険者資格取得届」を提出することが義務づけられています。

●お問い合わせ 豊後大野公共職業安定所 ☎0974-22-8609

「ジョブカフェおおいた」をご存じですか？

「ジョブカフェおおいた」では、ハローワークで職業紹介を受ける前の段階にある若者の就職に関する相談をお受けしています。「自分にはどんな仕事があるんだろう」、「何度も就職試験を受けているのになかなか受からない」など、ひとりで悩んでいませんか？当日会場ではカウンセラーがあなたの相談をお待ちしています。お気軽にお越しください。

※「ジョブカフェおおいた」は、若年者（概ね35歳未満）の就職を支援するために大分県が設置した公的な支援機関です（利用無料）

1. 日時：平成22年12月17日(金)10:00～16:00
2. 場所：竹田市役所 本庁3階 3・4会議室
3. 内容：相談を受けてそれぞれの方に合った支援を行います。（適職診断、企業情報など就職支援情報の提供）
4. 対象：概ね35歳未満の求職者（学生・生徒を含む）およびその保護者
5. 問い合わせ先：〒870-0026大分市金池町1-1-1 大交セントラルビル3F 「ジョブカフェおおいた」事業推進室
☎097-548-5771 FAX:097-548-5778 Mail:info@hataraku.jp
*当日受付も可能ですが、予約者を優先します。

休日及び夜間の在宅当番医

大久保病院 ☎64-7777

受付時間 平日夜間 18:00～21:00
土曜日 13:00～21:00
休日 8:30～21:00

- 注意事項
- ・かかりつけの病院がある場合は、できるだけそこで診てもらおうようお願いします。
 - ・事前に症状、年齢、その他必要事項を病院へ電話連絡したうえで受診をしてください。
 - ・症状が重い場合は救急車を呼んでください。

※竹田医師会病院でも電話で相談いただき、可能な場合は診療します。

小児科外来休日当番院

当番日	医療機関	電話番号
12月4日(土)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838
12月5日(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
12月11日(土)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838
12月12日(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
12月18日(土)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838
12月19日(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
12月23日(祝・木)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
12月25日(土)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838
12月26日(日)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
12月29日(水)	みやわき小児科(三重町) ※午前中	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町) ※午前中	0974-22-6333
12月30日(木)・31日(金)・1月1日(土)・2日(日)・3日(月)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121

受付時間 8:30～11:30 (こども診療所は9:00～11:30)

診療時間 9:00～12:00 (三重東クリニックは8:30～12:00)

※土曜日については、上記以外にも診療を行っているところがあります。

- 豊後大野市民病院 <http://ogatahp.ddo.jp/>
- みやわき小児科 <http://www.miyawaki-kodomo.com/>
- 三重東クリニック <http://www.sekiaikai.jp/index.html>
- 竹田市立こども診療所 <http://www.city.taketa.oita.jp/>

歯科休日当番医院

当番日	医療機関	電話番号
12月5日(日)	竹下歯科医院(竹田)	0974-62-2622
12月12日(日)	たけした歯科医院(竹田)	0974-63-3212
12月19日(日)	歯科筑紫医院(久住)	0974-76-0024
12月23日(祝・木)	ふじさわ歯科医院(竹田)	0974-64-1118
12月26日(日)	荻歯科診療所(荻)	0974-68-3263
12月29日(水)	荻歯科診療所(荻)	0974-68-3263
12月30日(木)	長湯ごとう歯科(直入)	0974-75-3001
12月31日(金)	長湯ごとう歯科(直入)	0974-75-3001

※診療時間を確認のうえ、受診してください。

○大分県歯科医師会 ☎097-545-3151

<http://www.oita-dental-a.or.jp/>

受診時の注意 当番院は、やむを得ず変更になる場合があります。あらかじめ当番院または竹田市消防署(☎63-0119)にお電話で確認されるようお願いいたします。また、院外薬局が休みの場合は、あらかじめ用意されて約束処方となることがありますので、ご了承ください。



たけたケーブルテレビ

※都合により番組内容が一部変更する場合がございます。ご了承ください。



竹田の話題がまるごと観られるのはTCTだけ!!

◇たけた市民チャンネル特番

・第64回瀧廉太郎記念全日本高等学校音楽コンクール

【放送日】12月11日、18日、25日(土) 13:00～

竹田市文化会館で行われた、「第64回瀧廉太郎記念全日本高等学校音楽コンクールの本選の模様と、昨年の第63回大会で、第1位に輝いた野町知弘さんと、第2位の野々村彩乃さんによる、ウィーン留学報告会の模様をお届けします。

全国の若き音楽家たちのすばらしい歌声をお楽しみください。

・第2回川端康成記念講演会

【放送日】12月11日、18日、25日(土) 17:00～

11月10日(水)に、県立竹田高校で行われた、「第2回川端康成記念講演会」の模様をお届けします。文豪・川端康成が昭和27年に竹田高校で講演を行ったことを記念して、昨年からは始まった記念講演会です。今年の講師は、東京藝術大学元学長で、東京スカイツリー(2011年完成予定)のデザインを監修した、彫刻家の澄川喜一氏。「私とスカイツリーが出合うまで」と題した貴重な講演をご覧ください。

・おはなしルーム 公開講座

【放送日】12月12日、19日、26日(日) 13:00～

11月13日(土)に、竹田市上町の秋山巖版画館ホールで行われた、「おはなしルーム公開講座」をお届けします。NHK教育テレビ「視点論点」に出演したこともある、詩人のアーサー・ピナード氏や、詩人、絵本作家、翻訳家として活躍の木坂涼さんによる講演が行われ、楽しい絵本のお話などをしてくれました。家族お揃いで、ぜひご覧ください。

・奥豊後の盆踊りを楽しむ夕べ

【放送日】12月12日、19日、26日(日) 17:00～

10月30日(土)に、竹田市文化会館で行われた、「奥豊後盆踊り」を楽しむ夕べをお届けします。市内各地の継承されている盆踊りを披露。テレビの前の皆さんも一緒に踊りませんか。

※都合により番組内容が一部変更する場合があります。

●お問い合わせ 竹田市ケーブルネットワークセンター ☎76-1415